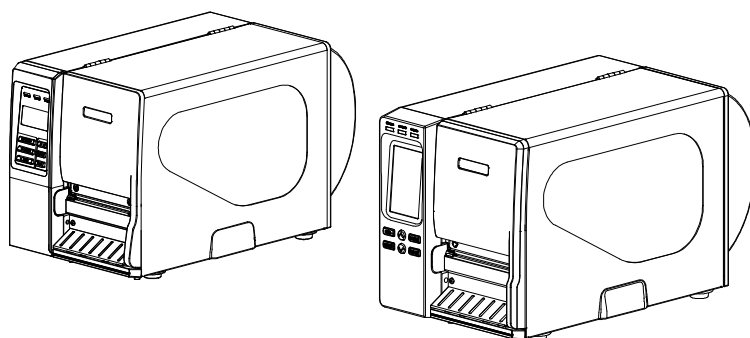


**TTP-2410MU/TTP-346MU/TTP-644MU/
TTP-2410MT/TTP-346MT/TTP-644MT シリーズ**

熱転写式/感熱式バーコードプリンタ

取扱説明書



著作権情報

©2015 TSC Auto ID Technology Co., Ltd,

本説明書、また本説明書内に記載されるプリンタ搭載ソフトウェアおよびファームウェアの著作権は TSC Auto ID Technology Co., Ltd の所有です。無断転載および複製を禁じます。

CG Triumvirate は Agfa Corporation の商標です。CG Triumvirate Bold Condensed フォントは Monotype Corporation による特許所有です。Windows は Microsoft Corporation の登録商標です。

その他の商標は各社の所有です。

本書における情報は事前の通知なしに変更される場合があります、TSC Auto ID Technology Co.側のいかなる義務も示すものではありません。本書のいかなる部分も、TSC Auto ID Technology Co.の書面による事前の許可なく、購入者の個人的使用以外の目的で複製または転送することは、形態、手段のいかんを問わず、固く禁止します。

事業コンプライアンスおよび認可



EN 55022 (クラス A)
EN 55024
EN 61000-3-2/EN 61000-3-3
EN 60950-1

これは、クラス A 製品です。家庭環境において、本製品は、電波干渉を引き起こす場合があります、その場合、ユーザーが十分な対策をとる必要があります。



FCC CFR Title 47 パート 15B、クラス A
ICES-003、クラス A

本装置は FCC 規定第 15 章によるクラス A デジタル装置の規制に準拠していることが試験により確認されています。これらの制限は、装置を商業環境で動作させた時、有害な干渉に対する合理的な保護を提供するように設計されています。

本装置は、高周波エネルギーを発生、使用し、放射しうするため、製造元の取扱説明書通りに設置し使用しない場合は、無線通信に有害な電波障害を引き起こすことがあります。住宅領域で本装置を動作させると有害な干渉を引き起こす可能性があります。その場合、自らの費用負担で干渉を修正する必要があります。

本クラス A デジタル装置は、カナダ ICES-003 に準拠しています
Cet appareil numérique de la classe A est conforme à la norme NMB-003 du Canada.



AS/NZS CISPR 22 (クラス A)



GB -4943.1
GB9254 (クラス A)
GB17625.1

此为 A 级产品, 在生活环境, 该产品可能会造成无线电干扰, 在这种情况下, 可能需要用户对干扰采取切实可行的措施。



UL 60950-1 (第2版)
CSA C22.2 No. 60950-1-07 (第2版)



EN 60950-1

Wichtige Sicherheits-Hinweise

1. Bitte lesen Sie diese Hinweis sorgfältig durch.
2. Heben Sie diese Anleitung für den späteren Gebrauch auf.
3. Vor jedem Reinigen ist das Gerät vom Stromnetz zu trennen. Verwenden Sie keine Flüssig-oder Aerosolreiniger. Am besten eignet sich ein angefeuchtetes Tuch zur Reinigung.
4. Die Netzanschluß-Steckdose soll nahe dem Gerät angebracht und leicht zugänglich sein.
5. Das Gerät ist vor Feuchtigkeit zu schützen.
6. Bei der Aufstellung des Gerätes ist auf sicheren Stand zu achten. Ein Kippen oder Fallen könnte Beschädigungen hervorrufen.
7. Beachten Sie beim Anschluß ans Stromnetz die Anschlußwerte.
8. Dieses Gerät kann bis zu einer Außentemperatur von maximal 40°C betrieben werden.

注意

誤ったタイプのバッテリーに交換すると爆発の危険があります。

指示に従って使用済みバッテリーを処分してください。

“VORSICHT”

Explosionsgefahr bei unsachgemäßen Austausch der Batterie. Ersatz nur durch denselben oder einem vom Hersteller empfohlenem ähnlichen Typ. Entsorgung gebrauchter Batterien nach Angaben des Herstellers.

注意:

明示的に本装置の受領者が承認していない変更や改造により、機器を操作するユーザーの権限が無効になることがあります。

注意

1. カッターモジュールに含まれる危険な可動部分。指や身体部分を近づけないこと。
2. メインボードには、リチウム電池 CR2032 を取り付けたリアルタイムクロック機能が含まれています。電池を不適切なタイプと交換すると爆発の危険があります。
3. 使用済み電池の廃棄は製造元の指示に従ってください。

ATTENTION

1. PIÈCES DANGEREUSES EN MOUVEMENT DANS LE MODULE DE COUPAGE. GARDER VOS DOIGTS ET AUTRES PARTIES DU CORPS À L'ÉCART DE CES ZONES.
2. LE CIRCUIT PRINCIPAL CONTIENT UNE HORLOGE EN TEMPS RÉEL AVEC UNE BATTERIE AU LITHIUM DE TYPE CR2032. RISQUE D'EXPLOSION SI LA PILE EST REMPLACÉE PAR UNE PILE D'UN AUTRE TYPE.
3. SUIVRE LES INSTRUCTIONS DU FABRICANT POUR LA MISE AU REBUT DES PILES USÉES.

目次

1. はじめに	1
1.1 製品紹介	1
1.2 製品機能	2
1.2.1 プリンタ標準機能	2
1.2.2 プリンタオプション機能	4
1.3 全般仕様	5
1.4 印刷仕様	5
1.5 リボン仕様	5
1.6 メディア仕様	6
2. 操作概要	7
2.1 開梱検査	7
2.2 プリンタ概要	8
2.2.1 正面図	8
2.2.2 内部図	10
2.2.3 背面図	11
2.3 オペレータコントロール	13
2.3.1 LED 表示およびキー	15
2.3.2 タッチパネル(MT シリーズ)	16
3. 設定	18
3.1 プリンタの設定	18
3.2 リボンの装着	19
3.2.1 リボンの装着	19
3.2.2 使用済みリボンの取り外し	22
3.3 メディアの取り付け	23
3.3.1 メディアの取り付け	23
3.3.2 ファンフォールド/外付けメディアの取り付け	27
3.3.3 ピールオフモード(オプション)でのメディアの取り付け	28
3.3.4 ライナーを内蔵巻き戻しスピンドルから取り外す(オプション)	30
3.3.5 ラベルモードでの巻き戻しライナーへのメディアの取り付け(オプション)	31

3.3.6 ラベルを内蔵巻き戻しスピンドルから取り外す(オプション)	32
4. 調整ノブ	33
4.1 プリンタヘッド圧力調整ノブ	33
4.2 リボンテンション調整モジュール	34
4.3 プリンタヘッド焼付けライン調整ノブ	35
4.4 リボンの皺を防ぐ機構微調整	36
5. MT シリーズ向けの LCD メニュー機能	38
5.1 メインメニューに入る	38
5.2 メインメニュー概要	39
5.3 TSPL2	40
5.4 ZPL2	42
5.5 センサー	45
5.6 Interface (インターフェイス)	46
5.6.1 シリアル通信	46
5.6.2 Ethernet(イーサネット)	47
5.7 ファイルマネージャー	48
5.8 診断	49
5.8.1 印刷設定	49
5.8.2 ダンプモード	51
5.8.3 プリンタヘッド	52
5.8.4 Display(表示)	52
5.8.5 センサー	52
5.9 Advanced (詳細)	53
5.10 Service(サービス)	54
6. MU シリーズ向けの LCD メニュー機能	55
6.1 メインメニューに入る	55
6.2 メインメニュー概要	55
6.3 設定	56
6.3.1 プリンタ設定(TSPL2/ZPL2)	56

6.3.2 センサー	61
6.3.3 シリアル通信	62
6.3.4 Date Time(日付&時刻)	62
6.4 ファイルマネージャー	63
6.5 診断	64
6.5.1 印刷設定	64
6.5.2 ダンプモード	66
6.5.3 カッター回転	67
6.6 Language(言語)	68
6.7 Service(サービス)	69
7. 診断ツール	70
7.1 診断ツールの開始	70
7.2 プリンタ機能	71
7.3 診断ツールによるイーサネットの設定	72
7.3.1 USB インターフェイスを使用してイーサネットインターフェイスを設定する	72
7.3.2 RS-232 インターフェイスを使用してイーサネットインターフェイスを設定する	73
6.3.3 イーサネットインターフェイスを使ってイーサネットインターフェイスを設定する	74
8. トラブルシューティング	76
9. メンテナンス	79
改訂履歴	80

1. はじめに

1.1 製品紹介

TSC バーコードプリンタをご購入いただき、誠にありがとうございます。

本プリンタは、ダイキャストアルミニウムケース、プリンタ装置、大型クリアメディア表示ウィンドウを搭載した金属カバーを備えて、極端かつ高い耐久性を要する業務環境およびその適用にて動作するようにデザインされています。

バックライトグラフィック LCD ディスプレイにより、プリンタのステータスの管理もさらに容易となり、操作も一層ユーザーフレンドリーなものとなっています。可動センサー設計で幅広いラベルメディアの適用が可能。最も使用頻度の高いバーコード形式もすべて含まれています。フォントおよびバーコードは、4 方向のいずれでも印刷が可能。

本プリンタには、高品質かつ高性能の MONOTYPE IMAGING® True Type フォントエンジンおよび CG Triumvirate Bold Condensed スムーズフォントを 1 種内蔵しています。また柔軟なファームウェア設計により、ユーザーは PC からプリンタメモリに True Type フォントをダウンロードし、ラベル印刷に使用することができます。スケーラブルフォントに加え、英数字ビットマップフォント、OCR-A、OCR-B は 5 種の異なるサイズから選択可能です。このような豊かな機能を統合し、本プリンタはクラス内最高のコスト効率、最高の性能を誇る製品となっています！

- 用途
 - 業務用印刷
 - ヘルスケア患者の安全性
 - コンプライアンスラベリング
 - 仕掛け管理
 - 注文処理
 - 流通
 - 配送/受領
 - 発券
 - 電化製品および宝石類ラベリング

1.2 製品機能

1.2.1 プリンタ標準機能

プリンタには次の標準機能が搭載されています。

製品標準機能	203 dpi モデル	300 dpi モデル	600 dpi モデル
熱転写式または感熱式	○	○	○
上質のダイキャスト アルミニウム デザイン	○	○	○
大型クリアメディア表示ウィンドウを搭載した金属カバー	○	○	○
可動式ギャップセンサー(位置調整可能)	○	○	○
可動式ブラックマークセンサー(位置調整可能)	○	○	○
リボンエンドセンサー	○	○	○
リボンエンコーダセンサー(カラーリボン対応)	○	○	○
ヘッドオープンセンサー	○	○	○
■ グラフィックタイプ、128 x 64 ピクセル、バックライト付 --- MU シリーズ ■ 抵抗膜方式タッチパネル、16 ビットカラー、480 x 272 ピクセル、バックライト付 --- MT シリーズ サポートする言語: ▪ 英語 ▪ フランス語 ▪ ドイツ語 ▪ スペイン語 ▪ イタリア語 ▪ 繁体字中国語 ▪ 簡体字中国語 ▪ 日本語 ▪ ロシア語 ▪ ポーランド語	○	○	○
操作用 6 ボタン付コントロールパネル	○	○	○
コントロールパネルセキュリティ(TCF)	○	○	○
LED インジケータ	○	○	○
リアルタイムクロック	○	○	○
内蔵イーサネットプリンタサーバ(10/100Mbps)インターフェイス	○	○	○
USB 2.0 クライアント(ハイスピードモード)	○	○	○
シリアル RS-232C(2400-115200 bps) インターフェイス	○	○	○
スキャナあるいは PC キーボード向け USB ホストインターフェイス	○	○	○
128 MB DDR2 SDRAM メモリ	○	○	○
128 MB FLASH メモリ	○	○	○
SD FLASH カードメモリによりストレージを 32 GB まで拡大	○	○	○
32 ビット RISC ハイパフォーマンスプロセッサ	○	○	○
Eltron [®] および Zebra [®] 言語サポートを含む業界規格エミュレーションはプリンタ開封後の即時使用が可能	○	○	○
内蔵英数ビットマップフォント 8 種	○	○	○
フォントおよびバーコードは、4 方向のいずれでも印刷が可能。	○	○	○

(0, 90,180, 270 度)												
内蔵 Monotype Imaging® true type フォントエンジン、CG Triumvirate Bold Condensed スケーラブルフォント 1 種付属		○	○	○								
PC からプリンタメモリへのフォントダウンロード可能		○	○	○								
バーコード、グラフィックス/画像印刷												
<table><tr><td colspan="2">対応バーコード</td><td>画像サポート</td></tr><tr><td>1次元 バーコード</td><td>2次元 バーコード</td><td rowspan="2">BITMAP、 BMP、PCX (グラフィックス 最大 256 色)</td></tr><tr><td>Code128サブセット A.B.C、Code 128 UCC、EAN 128、 Interleaved 2 of 5、 Code 39、Code 93、 EAN-13、EAN-8、 CODABAR、 POSTNET、UPC-A、 UPC-E、EANおよび UPC 2(5)DIGITS、 MSI、PLESSEY、 China Post、ITF14、 EAN 14、Code 11、 TELPEN、PLANET、 Code 49、Deutsche Post Identcode、 Deutsche Post Leitcode、LOGMARS</td><td>CODABLOCK F モード、 DataMatrix、 Maxicode、PDF- 417、Aztec、 MicroPDF417、 QRコード、RSS バーコード(GS1 データバー)</td></tr></table>		対応バーコード		画像サポート	1次元 バーコード	2次元 バーコード	BITMAP、 BMP、PCX (グラフィックス 最大 256 色)	Code128サブセット A.B.C、Code 128 UCC、EAN 128、 Interleaved 2 of 5、 Code 39、Code 93、 EAN-13、EAN-8、 CODABAR、 POSTNET、UPC-A、 UPC-E、EANおよび UPC 2(5)DIGITS、 MSI、PLESSEY、 China Post、ITF14、 EAN 14、Code 11、 TELPEN、PLANET、 Code 49、Deutsche Post Identcode、 Deutsche Post Leitcode、LOGMARS	CODABLOCK F モード、 DataMatrix、 Maxicode、PDF- 417、Aztec、 MicroPDF417、 QRコード、RSS バーコード(GS1 データバー)	○	○	○
対応バーコード		画像サポート										
1次元 バーコード	2次元 バーコード	BITMAP、 BMP、PCX (グラフィックス 最大 256 色)										
Code128サブセット A.B.C、Code 128 UCC、EAN 128、 Interleaved 2 of 5、 Code 39、Code 93、 EAN-13、EAN-8、 CODABAR、 POSTNET、UPC-A、 UPC-E、EANおよび UPC 2(5)DIGITS、 MSI、PLESSEY、 China Post、ITF14、 EAN 14、Code 11、 TELPEN、PLANET、 Code 49、Deutsche Post Identcode、 Deutsche Post Leitcode、LOGMARS	CODABLOCK F モード、 DataMatrix、 Maxicode、PDF- 417、Aztec、 MicroPDF417、 QRコード、RSS バーコード(GS1 データバー)											
サポートするコードページ: ・ コードページ 437(英語 - 米国) ・ コードページ 737(ギリシャ語) ・ コードページ 850(ラテン 1) ・ コードページ 852(ラテン 2) ・ コードページ 855(キリル語) ・ コードページ 857(トルコ語) ・ コードページ 860(ポルトガル語) ・ コードページ 861(アイスランド語) ・ コードページ 862(ヘブライ語) ・ コードページ 863(フランス語(カナダ)) ・ コードページ 864(アラビア語) ・ コードページ 865(北部フランス語) ・ コードページ 866(ロシア語) ・ コードページ 869(ギリシャ語 2) ・ コードページ 950(繁体字中国語) ・ コードページ 936(簡体字中国語) ・ コードページ 932(日本語) ・ コードページ 949(韓国語) ・ コードページ 1250(ラテン 2) ・ コードページ 1251(キリル語) ・ コードページ 1252(ラテン 1) ・ コードページ 1253(ギリシャ語) ・ コードページ 1254(トルコ語) ・ コードページ 1255(ヘブライ語) ・ コードページ 1256(アラビア語) ・ コードページ 1257(バルト語派) ・ コードページ 1258(ベトナム語)		○	○	○								

・ ISO-8859-1: ラテン 1(西ヨーロッパ) ・ ISO-8859-2: ラテン 2(中央ヨーロッパ) ・ ISO-8859-3: ラテン 3(南ヨーロッパ) ・ ISO-8859-4: ラテン 4(北ヨーロッパ) ・ ISO-8859-5: キリル語 ・ ISO-8859-6: アラビア語 ・ ISO-8859-7: ギリシャ語 ・ ISO-8859-8: ヘブライ語 ・ ISO-8859-9: トルコ語 ・ ISO-8859-10: 北部フランス語 ・ ISO-8859-15: ラテン 9 ・ UTF-8			
---	--	--	--

1.2.2 プリンタオプション機能

プリンタには次のオプション機能が提供されています。

製品オプション機能	ユーザー オプション	販売店オ プション	工場出荷 オプション
アプリケーション I/O インターフェイス (GPIO)			○
拡張メモリ付メインボード (512 MB フラッシュ/256 MB SDRAM)			○
ピールオフキット (ライナー巻き戻しスピンドルおよびピールオフセンサーを含む)		○	
内蔵巻き戻しキット (最大 6 インチ OD/ラベル巻き戻しスピンドル およびラベルリダイレクトキットを含む)		○	
標準カッター (非粘着材料を切断) 0.06 ~ 0.25 mm の厚み	○		
回転高耐久カッター 用紙重量 < 200 g/m ²	○		
ケアラベルカッター メディア幅: 25.4 ~ 70 mm メディア厚み: 最大 0.15 mm メディアコア ID: 50.8 mm ~ 76.2 mm 非印刷領域: フォームの上部から 2 mm	○		
KP-200 Plus シリーズキーボード	○		
プログラム可能スマートキーボード (KU-007 Plus)	○		
Bluetooth モジュール (シリアルインターフェイス)	○		
802.11 b/g/n ワイヤレスモジュール (シリアルインターフェイス)	○		

注記: ライナーレスカッター以外の場合、すべての標準/高耐久性/ケアラベルカッターはグルー付きメディアを切断しません。

1.3 全般仕様

全般仕様	
外形寸法	270 mm(幅)x 308 mm(高)x 515 mm(奥行)
重量	15 kg(33.07 ポンド)
付属電源アダプタ	内蔵スイッチング電源アダプタ AC 入力: AC 100 ~ 240V、2A、50 ~ 60Hz DC 出力: DC 24 V、5 A、120 W
環境条件	動作: 5 ~ 40°C(41 ~ 104°F)、25 ~ 85% 結露なし 保管: -40 ~ 40°C(-40 ~ 104°F)、10 ~ 90% 結露なし
環境問題	RoHS、WEEE に準拠

1.4 印刷仕様

印刷仕様	203 dpi モデル	300 dpi モデル	600 dpi モデル
プリンタヘッド解像度 (ドット/インチ/ミリメートルあたり)	203ドット/インチ (8ドット/インチ)	300ドット/インチ (12ドット/インチ)	600ドット/インチ (24ドット/インチ)
印刷方式	熱転写式または感熱式		
ドットサイズ (幅x長さ)	0.125 x 0.125 mm (1 mm = 8ドット)	0.084 x 0.084 mm (1 mm = 12ドット)	0.042 x 0.042 mm (1 mm = 24ドット)
印刷速度 ([インチ/秒])	最大 14ips (特殊メディアに対して 11 ~ 14 ips)	最大 10ips (特殊メディアに対して 7 ~ 10 ips)	4 ips
最大印刷幅	104 mm(4.09")		
最大印刷長	25400 mm(1000")	11,430 mm(450")	2540 mm(100")
印刷結果バイアス	垂直: 最大1 mm 水平: 最大1 mm		
印刷比	20 %、完全なウェブ黒バー厚みは、48 ドット高さを超えることはできません		

1.5 リボン仕様

リボン仕様	
リボン外径	最大 90 mm
リボン長	600 メーター長さ
リボンコア内径	1 インチコア(25.4 mm)
リボン幅	25.4 mm ~ 114.3 mm(1" ~ 4.5")
リボン巻きタイプ	インク面外巻きまたは内巻き
注記: カラーリボン対応	

1.6 メディア仕様

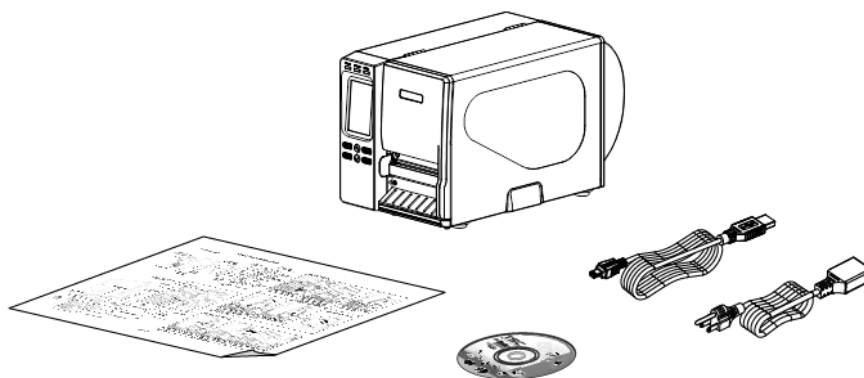
メディア仕様	203dpiモデル	300dpiモデル	600dpiモデル
ラベルロール容量	208.3 mm (8.2") OD		
メディア位置合わせ	エッジ位置合わせ		
メディアタイプ	連続、ダイカット、ファンフォールド、ブラックマーク、穿孔、ケアラベル (幅 3 インチ未満)		
メディア巻きタイプ	印刷面外巻き		
メディア幅	25.4 ~ 116 mm (1 インチ ~ 4.5 インチ)		
メディア厚み	0.06 ~ 0.30 mm (2.3 ~ 11.8 ミル)、最大 300 g/m ²		
メディアコア直径	25.4 ~ 76.2 mm (1 インチ ~ 3 インチ)		
ラベル長	5 ~ 25,400 mm (0.20 インチ ~ 1,000 インチ)	5 ~ 11,430 mm (0.20 インチ ~ 450 インチ)	5 ~ 2,540 mm (0.20 インチ ~ 100 インチ)
ラベル長 (カッターモード)	25.4 ~ 4,064 mm (1" ~ 160")	25.4 ~ 1,854 mm (1" ~ 73")	25.4 ~ 1,016 mm (1" ~ 40")
ラベル長 (ピーラーモード)	25.4 ~ 152.4 mm (1 インチ ~ 6 インチ)		
ギャップ高	最小 2 mm		
ブラックマーク高	最小 2 mm		
ブラックマーク幅	最小 8 mm (0.31")		

2. 操作概要

2.1 開梱検査

このプリンタは出荷中に損傷しないよう特別な梱包を行っています。バーコードプリンタを受け取ったら、すぐにパッケージとプリンタを注意深く点検してください。プリンタを返送する際に必要な場合があるので、梱包資材は保存しておいてください。プリンタのカートンには、次の品目が含まれています。

- プリンタ装置 x1
- Windows ラベリングソフトウェア/Windows ドライバーCD ディスク x1
- クイックインストールガイド x1
- 電源コード x1
- USB インターフェイスクーブル x1



部品が不足している場合は、購入された小売店または販売業者のカスタマーサービス部に連絡してください。

2.2 プリンタ概要

2.2.1 正面図

MU シリーズの場合



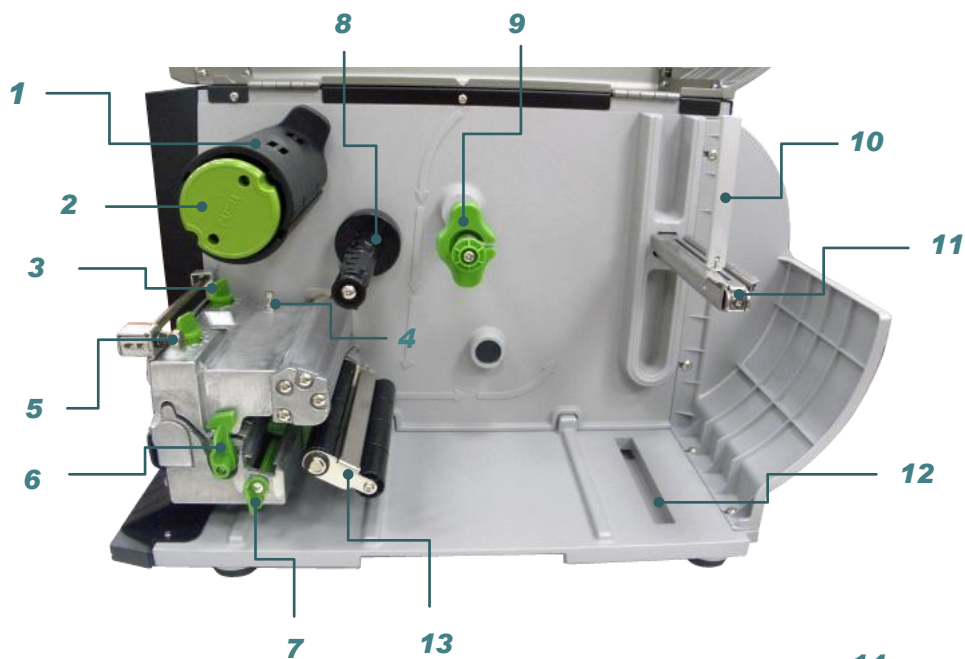
- 1. LED インジケータ
- 2. LCD ディスプレイ
- 3. 操作ボタン
- 4. メディアビュー ウィンドウ
- 5. 排紙シュート
- 6. プリンタカバー

MT シリーズの場合

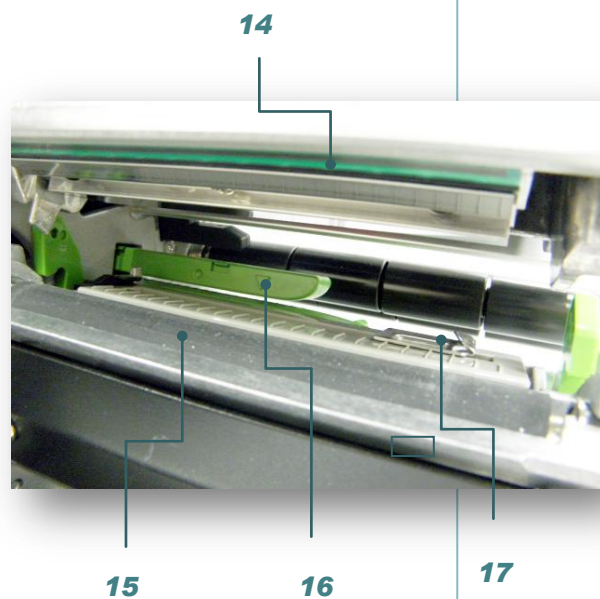


- 1. LED インジケータ
- 2. タッチパネル
- 3. 操作ボタン
- 4. メディアビュー ウィンドウ
- 5. 排紙シュート
- 6. プリンタカバー

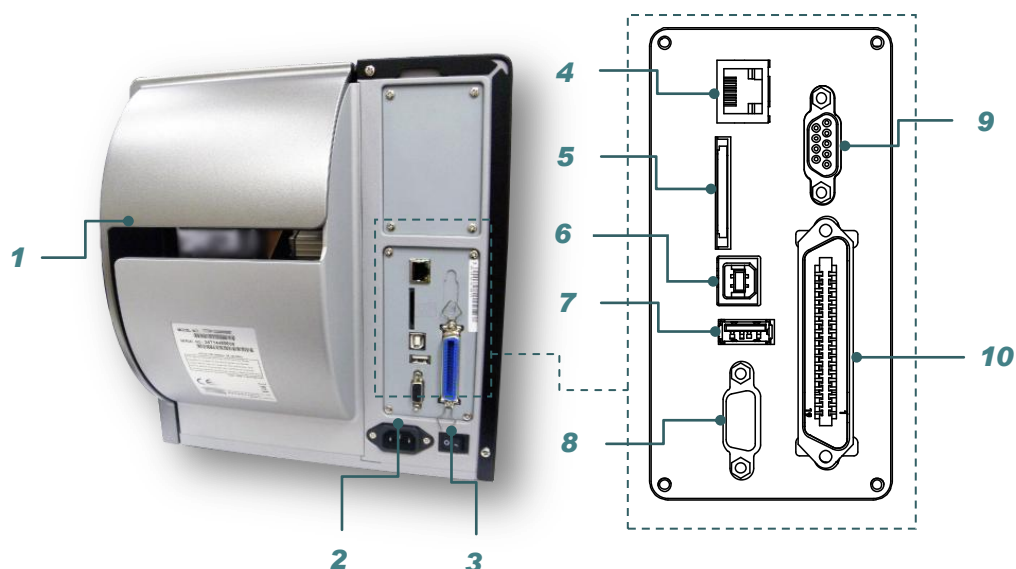
2.2.2 内部図



1. リボン巻き戻しスピンドル
2. リボンリリースボタン
3. プリンタヘッド圧力調節ノブ
4. Z 軸メカニズム調整ノブ
5. リボンテンション調整ノブ
6. プリンタヘッドリリースレバー
7. メディアセンサー ロックレバー
8. リボンサプライスピンドル
9. メディアガイドバー&背面ラベルガイド
10. ラベルロールガード
11. 3 インチラベルサプライスピンドル
12. 外部ラベルエントランスシュート
13. ダンパー



2.2.3 背面図



1. 外部ラベルエントランスシュート
2. 電源コードソケット
3. 電源スイッチ
4. イーサネットインターフェイス
5. * SD カードソケット
6. USB インターフェイス
7. USB ホスト
8. RS-232C インターフェイス
9. GPIO インターフェイス (オプション)
10. セントロニクスインターフェイス

注記:

このインターフェイス画像は参照用です。インターフェイスの可用性については製品仕様をご覧ください

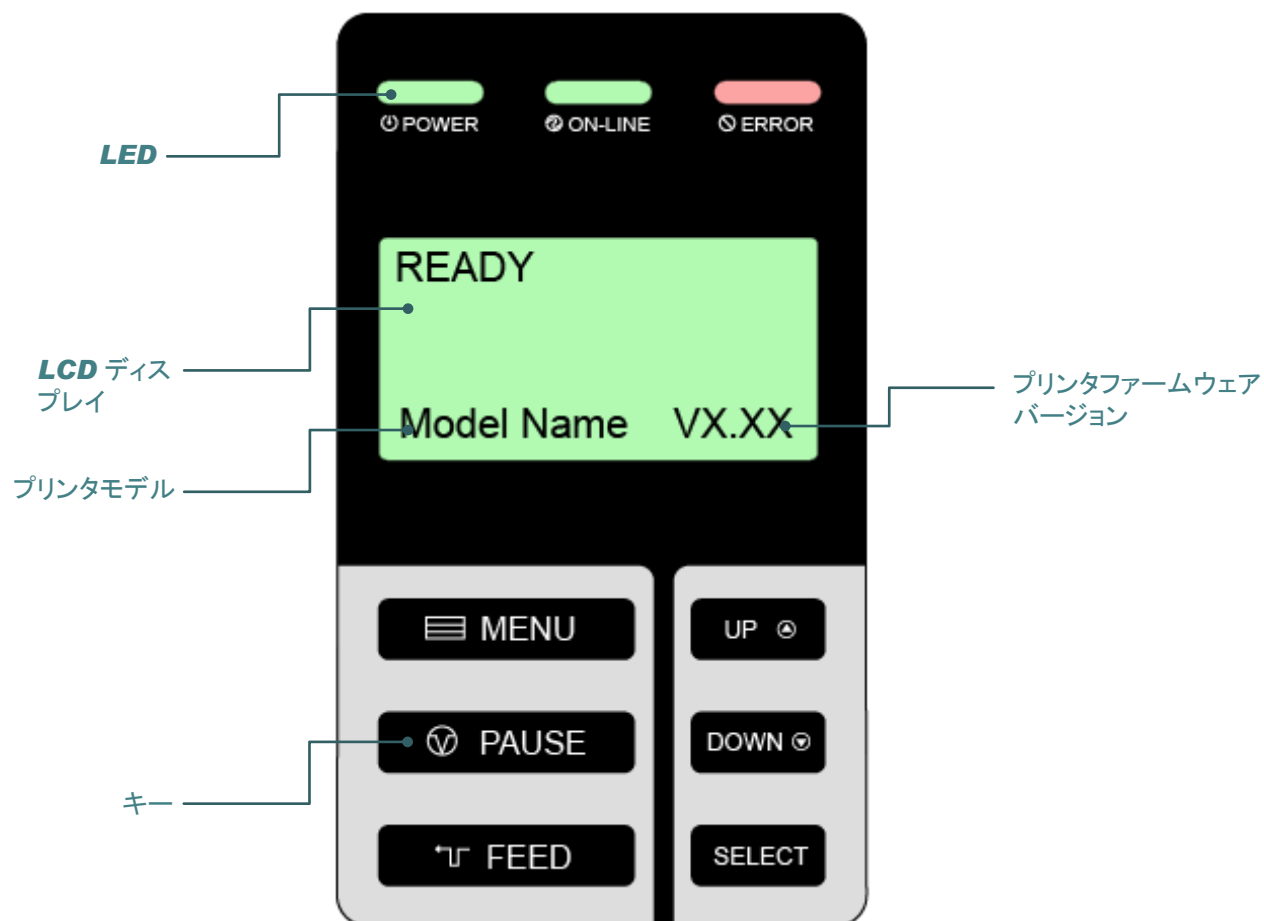
*推奨 SD カードの仕様

タイプ	SD カード仕様	SD カード容量	認定 SD カード製造元
SDHC	V2.0 クラス 4	2 G	Transcend
	V3.0 クラス 10	32 G	Kingston
	V3.0 クラス 10	16 G	Kingston
	V2.0 クラス 4	8 G	Scandisk

	V3.0 クラス 10	32 G	Scandisk
マイクロ SD	V2.0 クラス 4	4 G	Transcend
	V2.0 クラス 4	8 G	Transcend
	V3.0 クラス 10 UHS-I	16 G	Transcend
	V3.0 クラス 10 UHS-I	32 G	Transcend
	V3.0 クラス 10	16 G	Kingston
	V2.0 クラス 4	16 G	Scandisk
	V3.0 クラス 10 UHS-I	16 G	Scandisk
	- DOS FAT ファイルシステムは SD カードに対応しています。 - SD カードに格納されるフォルダ/ファイルは 8.3 ファイル名フォーマットでなければなりません。 - miniSD/microSD カードツーSD カードスロットのアダプタが必要となります。		

2.3 オペレータコントロール

MU シリーズの場合



MT シリーズの場合

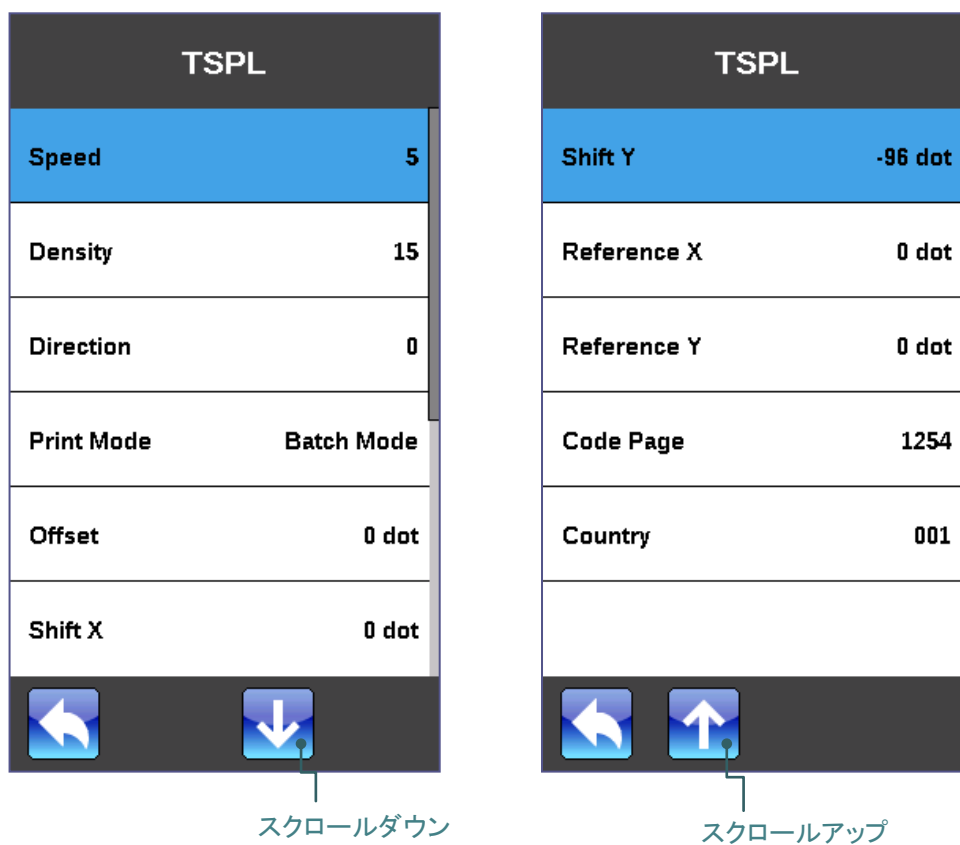
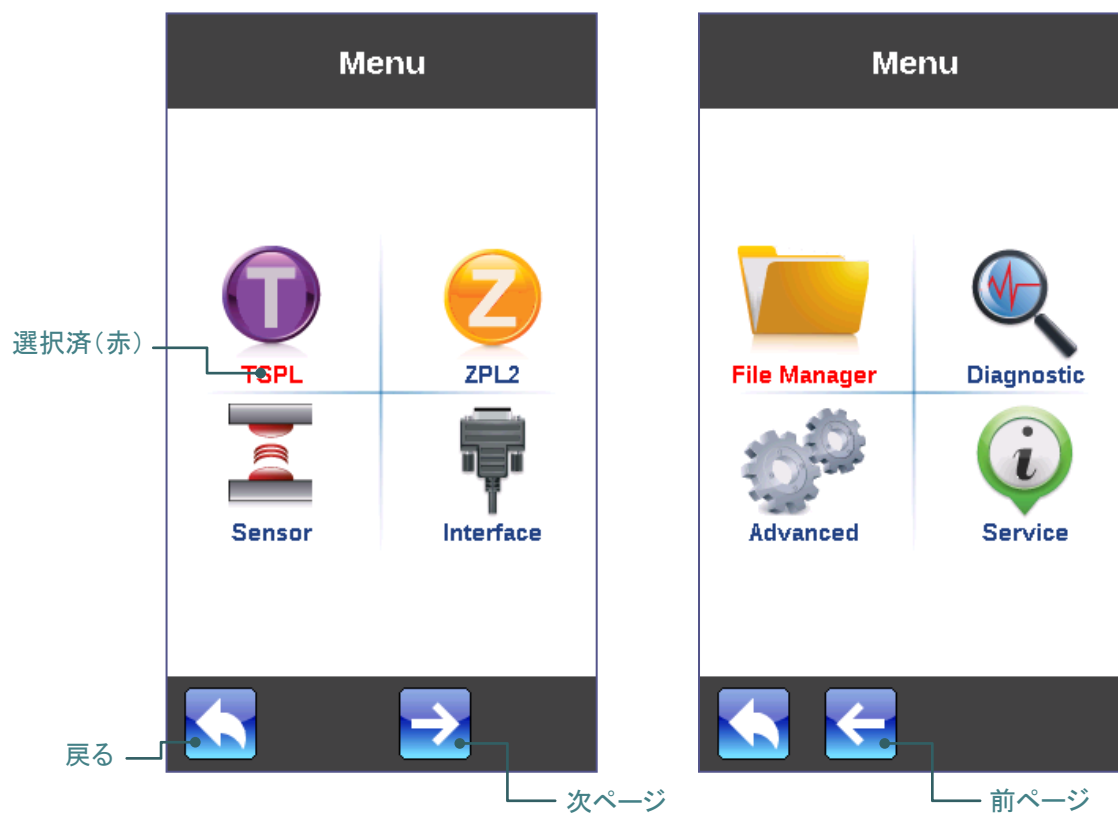


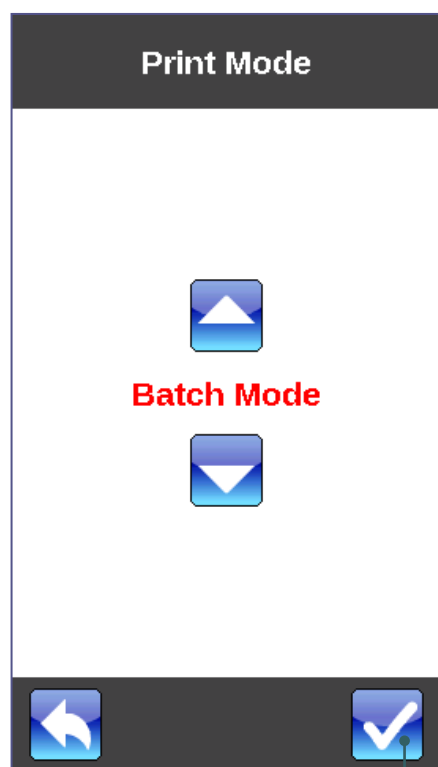
2.3.1 LED 表示およびキー

LED	ステータス	表示
POWER (電源)	オフ	プリンタの電源オフ
	オン	プリンタの電源オン
ON-LINE (オンライン)	オン	プリンタ準備完了
	点滅中	プリンタが一時停止中です
		プリンタはデータをダウンロード中です
ERROR (エラー)	オフ	プリンタ準備完了
	オン	キャリッジが開いているか、あるいはカッターエラー
	点滅中	紙がないか、紙詰まり、あるいはリボンがありません
キー	機能	
PAUSE (一時停止)	印刷処理を一時停止/再開します	
MENU (メニュー)	1. メニューに入ります 2. メニューを終了、あるいは設定をキャンセルし前のメニューに戻ります	
FEED(フィード)	ラベルをひとつ進めます	
UP(上へ)	メニューリストをスクロールアップします	
SELECT(選択)	カーソルが置かれているオプションを確定/選択します	
DOWN(下へ)	メニューリストをスクロールダウンします	

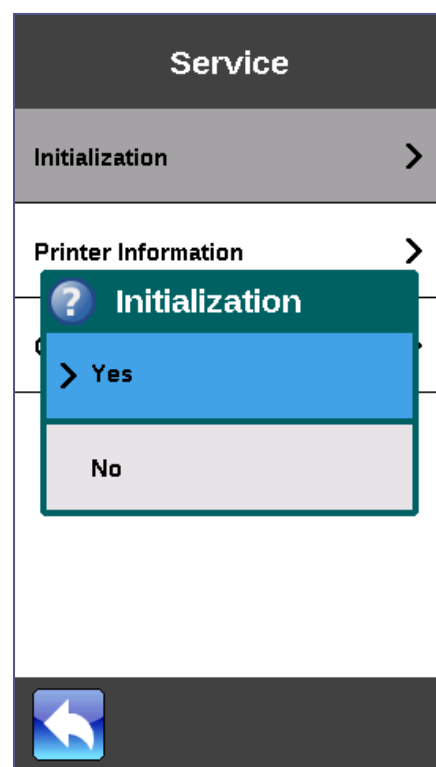
2.3.2 タッチパネル(MT シリーズ)

アイテムをタップして、それを開く/使用します。





セット



3. 設定

3.1 プリンタの設定

1. プリンタを平らで安全な表面に置きます。
2. 電源スイッチがオフになっていることを確認してください。
3. 付属の USB ケーブルでプリンタをコンピュータに接続します。
4. プリンタ背面の AC 電源コードソケットに電源コードを差し込み、正しく接地した電源コンセントに電源コードを差し込みます。

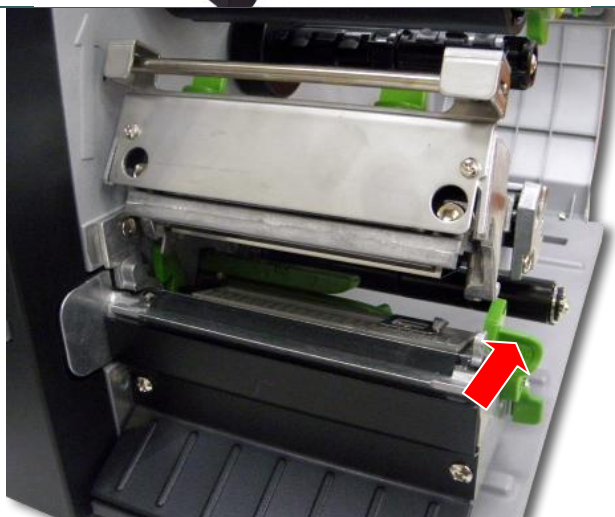
注記: プリンタ電源スイッチを OFF(オフ)にしてから、電源コードをプリンタの電源ジャックに差し込んでください。

3.2 リボンの装着

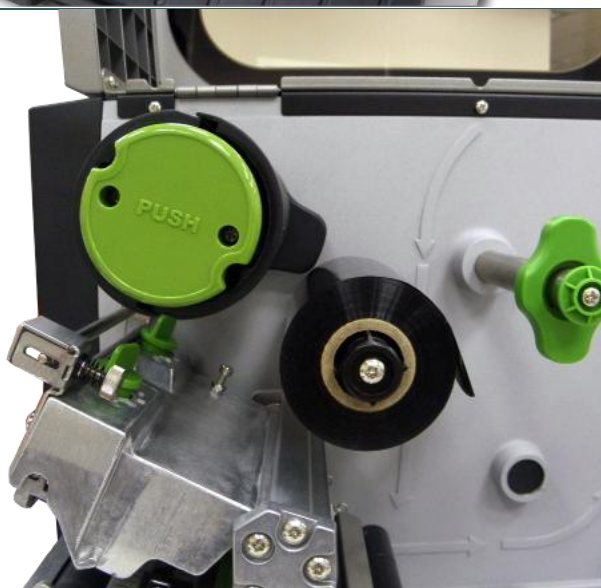
3.2.1 リボンの装着



1. プリンタ右側カバーを開けます。



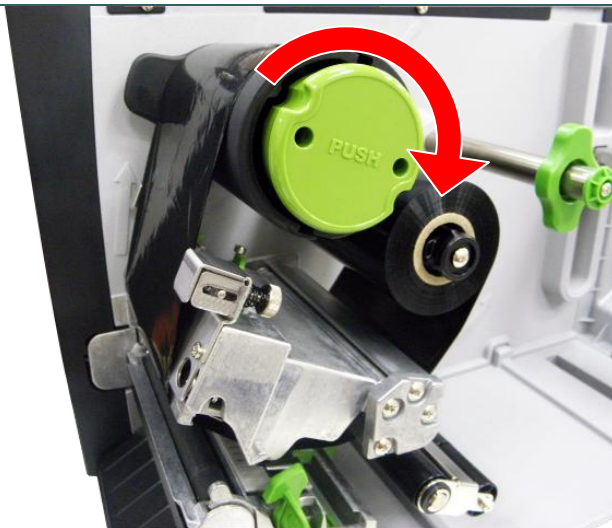
2. プリントヘッドリリースレバーを押してプリンタヘッド機構を開けます。



3. リボンサプライスピンドルにリボンを取り付けます。

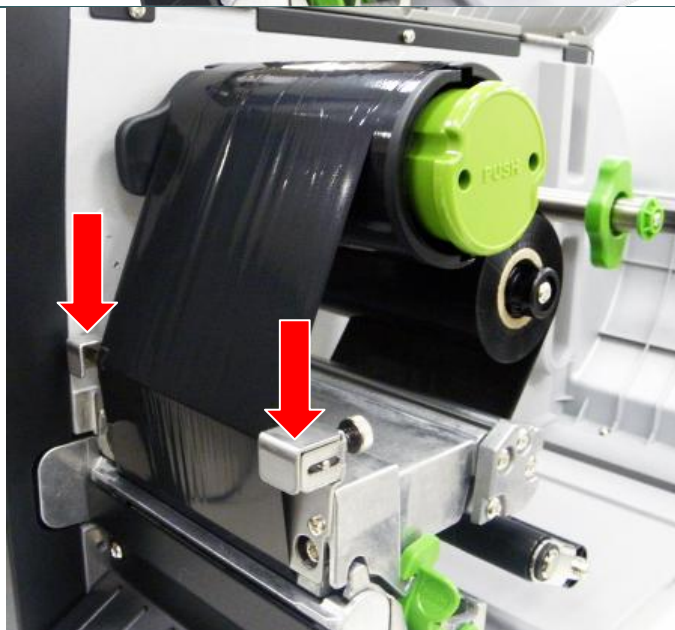


4. リボンはリボンセンサースロットを通し、続いてプリンタヘッドとプラテンの間の空間を通します。



5. リボン巻き戻しスピンドルにリボンを巻き付けます。リボン巻き戻しスピンドルに、リボンが滑らかで適切に引き伸ばされるまで3~5回ほど時計回りに巻き付けます。

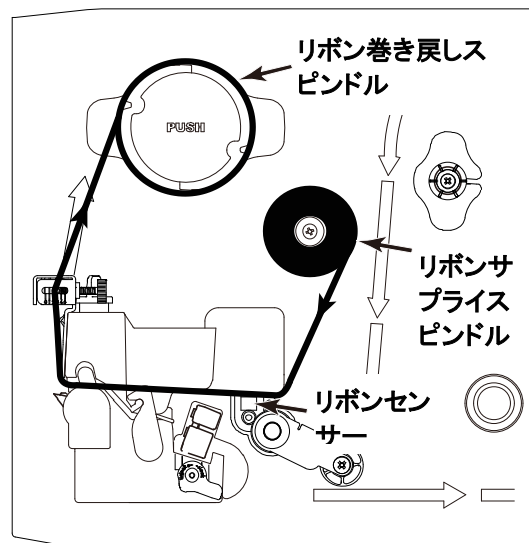
注記: リボンを取り付ける際は、リリースボタンを押さないでください。リボンリリースボタンは、使用済ボタンを取り外すために使用されます。



6. プリンタヘッド機構を閉じ、留め金がいっかり嵌まっていることを確認します。

注記:
TSC YouTube またはドライバ CD 上のビデオを参照してください。

リボンの取り付け経路

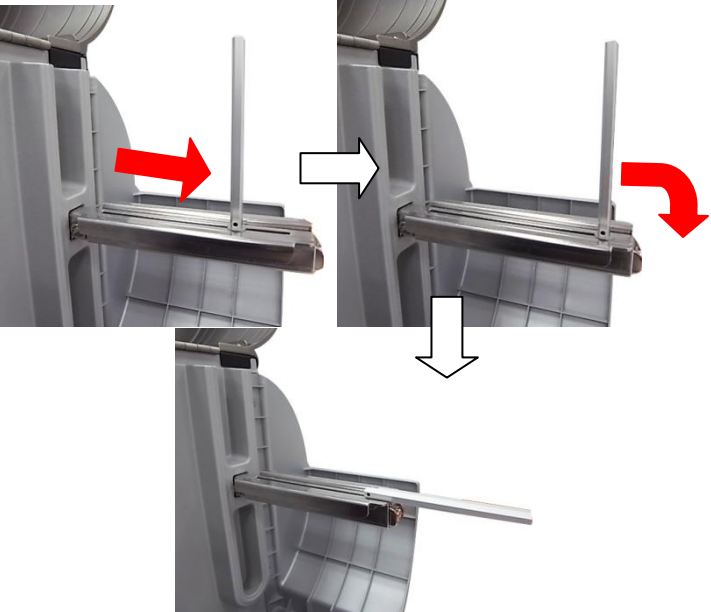


3.2.2 使用済みリボンの取り外し

	1. リボンガイドプレートとリボン巻き戻しスピンドルの間でリボンを切ります。
	2. リボン巻き戻しスピンドルのリボンが取れるよう、リボンリリースボタンを押します。
	3. リボン巻き戻しスピンドルからリボンを抜き取ります。

3.3 メディアの取り付け

3.3.1 メディアの取り付け

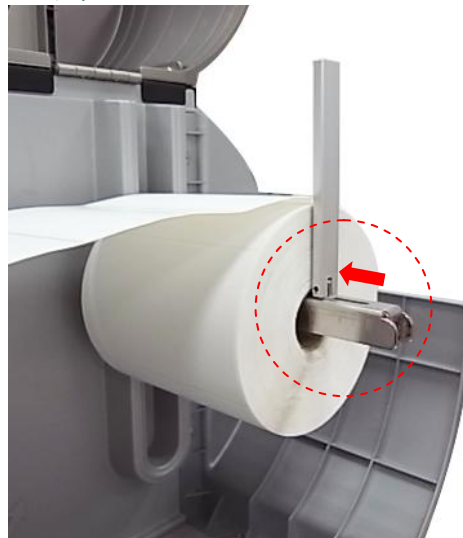
	1. プリンタ右側カバーを開けます。
	2. プリントヘッドリリースレバーを押してプリンタヘッド機構を開けます。
	3. ラベルロールガードを水平方向にラベルスピンドルの終わりまで動かし、そこでラベルロールガードを反転します。

-
4. ラベルサプライスピンドル上にメディアロールを置きます。ラベルロールガードを跳ね上げます。ラベルロールガードを水平に動かし、ラベルロールの幅にゆっくりと合わせます。
-

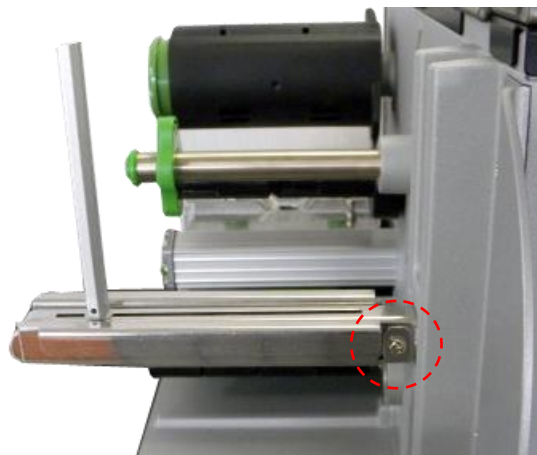
3" コアラレベルスピンドル



1" コアラレベルスピンドル



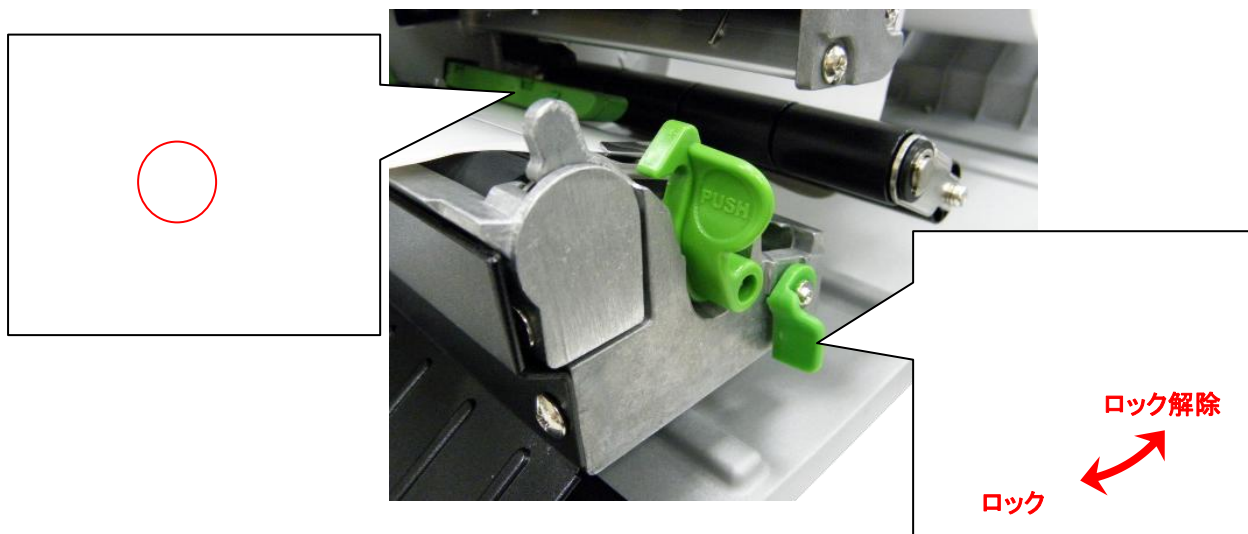
- 1 インチコアラベルのサイズに合うよう、2 つのネジを外して 3 インチラベルサプライスピンドルを交換します。



5. ラベルロールの先端をメディアガイドバー、ダンパー、およびメディアセンサー（緑）に通して引き出し、続いてラベルの先端をプラテンローラー上に配置します。背面ラベルガイド（緑）をラベルの幅に合わせて調整します。

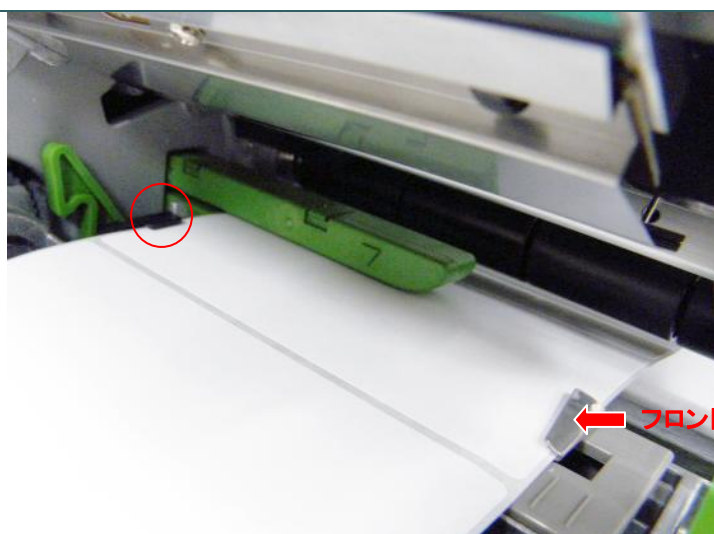


6. メディアセンサー固定レバーをロック解除することでメディアセンサーを移動し、ギャップ/ブラックマークセンサーが、通過しセンサーが反応する位置にメディアギャップあるいはブラックマークが位置するようにしてください。

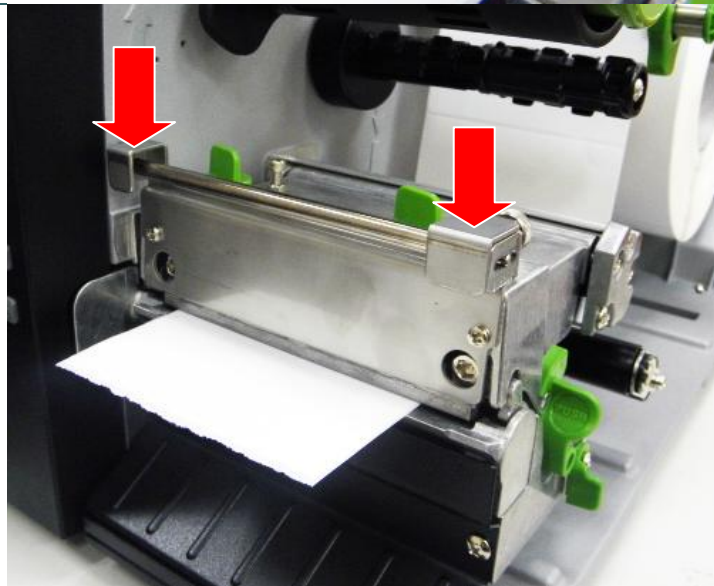


注記:

- * センサー位置はセンサーハウジングの三角型の印▽で示されています。
- * メディアセンサー位置は移動可能ですので、メディアギャップ/ブラックマークが通過しセンサーが反応する位置にギャップあるいはブラックマークが位置するようにしてください。



7. 正面ラベルガイド(緑)をラベルの幅に合わせて調整します。

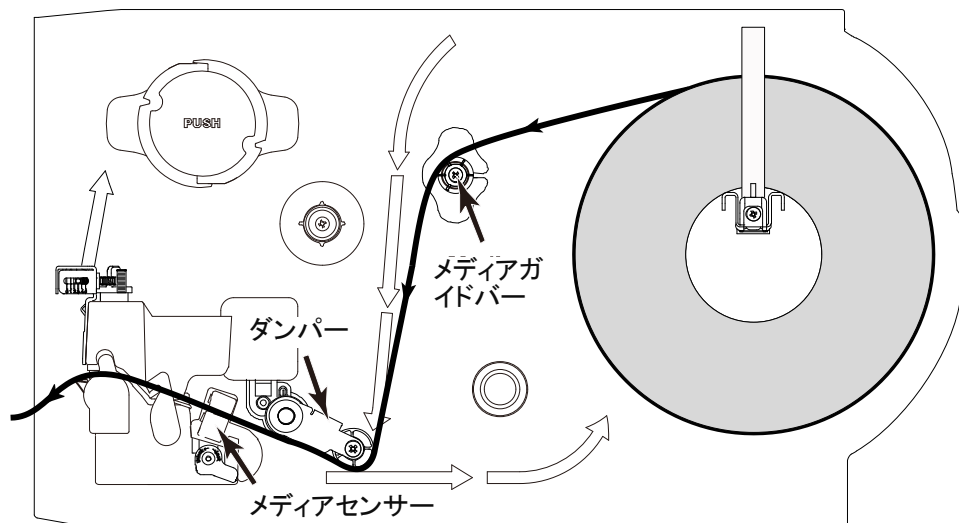


8. プリンタヘッド機構を閉じます。掛け金がしっかりかかっていることを確認してください。
9. フロントディスプレイパネルを使ってメディアセンサーの種類をセットし、選択したセンサーを校正します。

注記:

- * メディアを変更する時は、ギャップ/ブラックマークのセンサーを校正してください。
- * [TSC YouTube](#) またはドライバ CD 上のビデオを参照してください。

メディアの取り付け経路



3.3.2 ファンフォールド/外付けメディアの取り付け

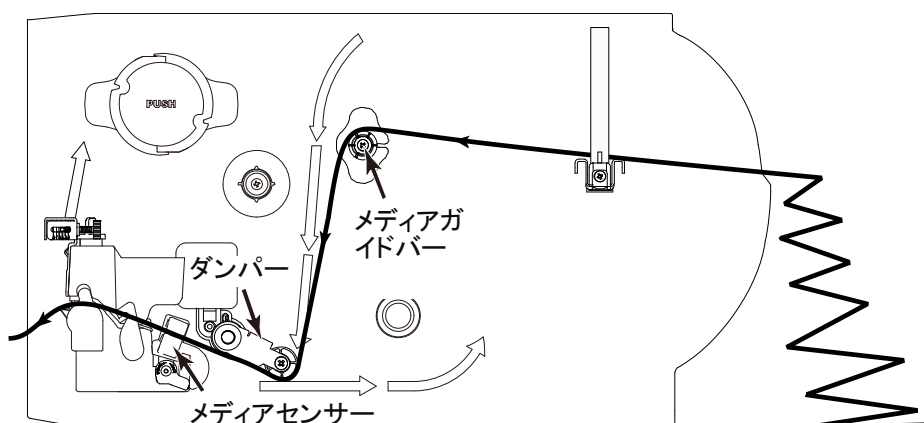


1. プリンタ右側カバーを開けます。
2. ファンフォールドメディアを底面あるいは背面の外部ラベル入口シュートを通して挿入します。
3. メディアの取り付けについては、セクション 3.3.1 を参照してください。

注記:

メディアを変更する時は、ギャップ/ブラックマークのセンサーを校正してください。

ファンフォールドラベルの取り付け経路



3.3.3 ピールオフモード(オプション)でのメディアの取り付け

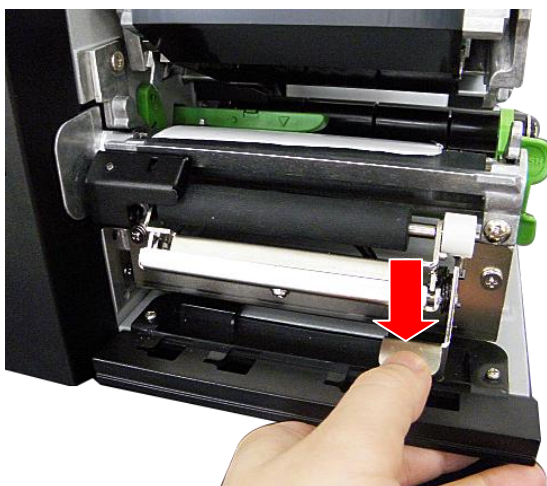


1. プリンタ右側カバーを開けます。
2. メディアの取り付けについては、セクション 3.3.1 のステップ 3 ~ 9 を参照してください。
3. フロントディスプレイパネルを使って、最初に校正を行い、プリンタモードをピーラーモードに設定します。

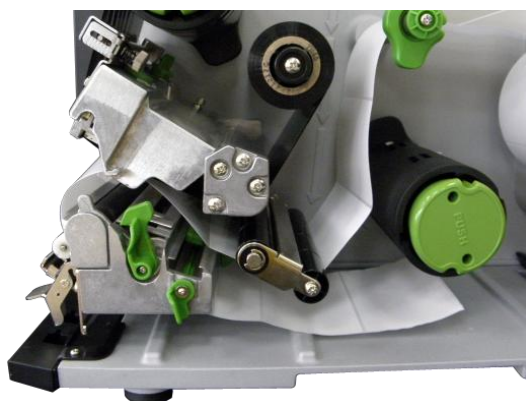
注記:

紙詰まりを避けるために、ピールオフモードでメディアを取り付けた後、ギャップ/ブラックマークセンサーを校正してください。

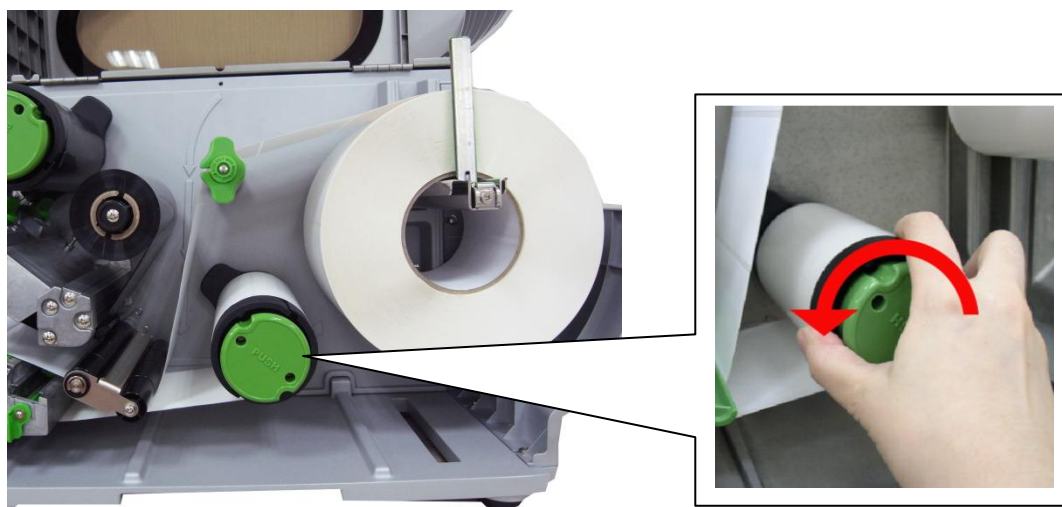
4. プリンタヘッドリリースレバーを開いて、プリンタの正面を通してラベルを約 650 mm 引き出します。
5. ピールオフローラーリリースバーを押し下げます。



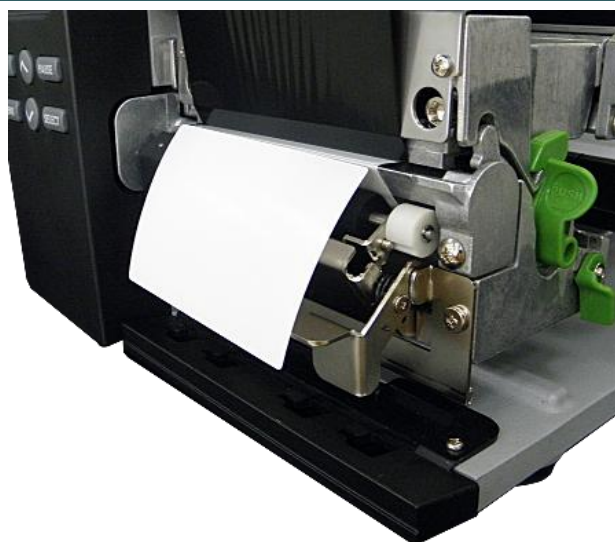
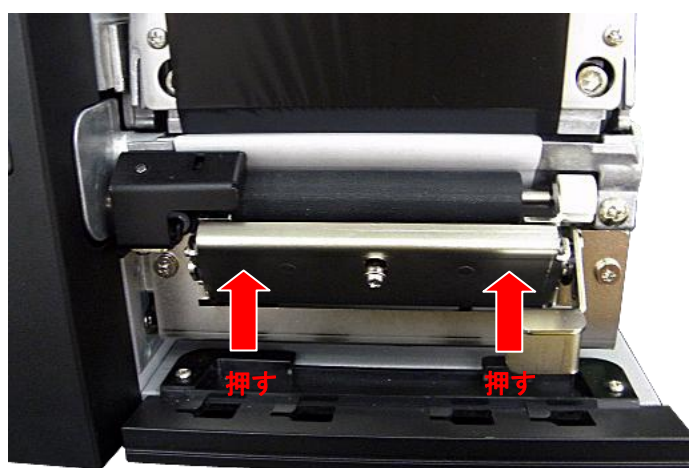
6. ラベルをピールオフローラーとプラテンローラーの間に送ります。



-
7. ラベルを内蔵巻き戻しスピンドルに巻き付け、ラベルが適切に伸ばされるまでスピンドルを反時計回りに約 3 ～ 5 回巻きます。



-
8. ピールオフローラードリリースレバーを持ち上げてプリンタヘッド機構を開けます。



9. ピーリングが自動的に開始されます。
FEED(フィード)ボタンを押してテストします。

3.3.4 ライナーを内蔵巻き戻しスピンドルから取り外す(オプション)

	1. ライナーををピールオフローラーと内蔵巻き戻しスピンドルの間で切ります。
	2. 内蔵巻き戻しスピンドルのライナーが取れるよう、ライナーリリースボタンを押します。
	3. 内蔵巻き戻しスピンドルからライナーをスライドして抜き取ります。

3.3.5 ラベルモードでの巻き戻しライナーへのメディアの取り付け(オプション)

このモードでは、巻き戻しスピンドル上のライナーおよびラベルを含むメディアを巻き戻すことができます

1. プリンタの右カバーを開き、プリンタヘッド機構を閉じます。
2. サプライホルダガイドおよびペーパーコアを 1 インチコアラベル用の内蔵巻き戻しスピンドルに挿入します。サプライホルダガイド、3 インチラベルコアアダプタ、およびペーパーコアを 3 インチコアラベル用の内蔵巻き戻しスピンドルに挿入します。

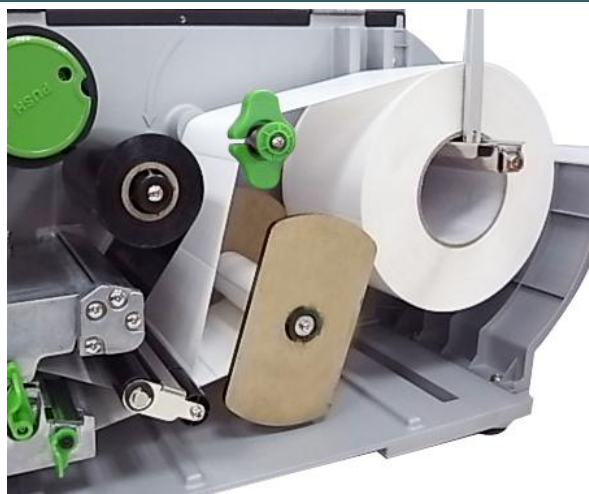
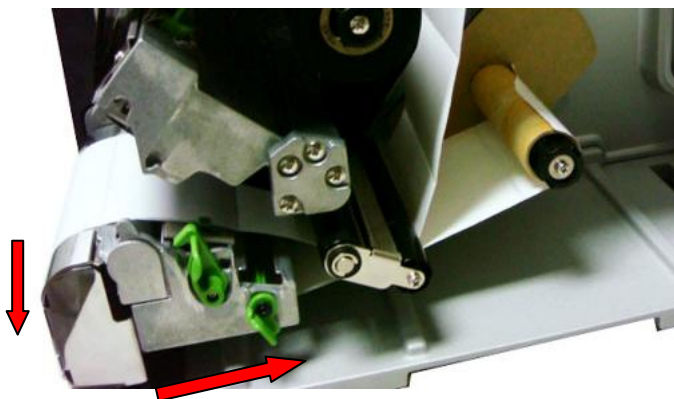
1 インチコアラベルロール



3 インチコアラベルロール



3. プリンタラベルスピンドルにメディアを挿入します。ラベルロールの先端をメディアガイドバー、ダンパー、およびメディアセンサーに通して引き出し、続いてラベルの先端をプラテンローラー上に配置します。
4. 正面パネルのラベルリダイレクトを通してラベルを約 650 mm 引き出します。
5. ラベルを内蔵巻き戻しスピンドルに巻き付け、ペーパーコアにラベルを留めます。



6. サプライホルダガイドをもうひとつ 1 インチコアラベル用の内蔵巻き戻しスピンドルに挿入します。
7. プリンタヘッド機構を閉じます。
8. LCD パネルを使ってメディアセンサーの種類をセットし、選択したセンサーを校正します。

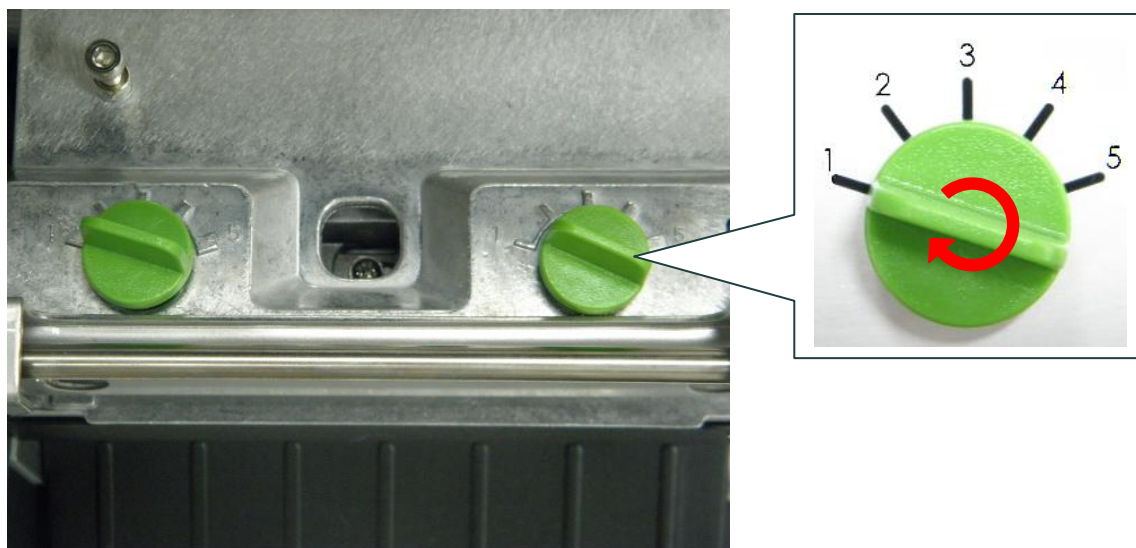
3.3.6 ラベルを内蔵巻き戻しスピンドルから取り外す(オプション)

1. ラベルとサプライホルダーガイドとを、内蔵巻き戻しスピンドルからスライドして外します。



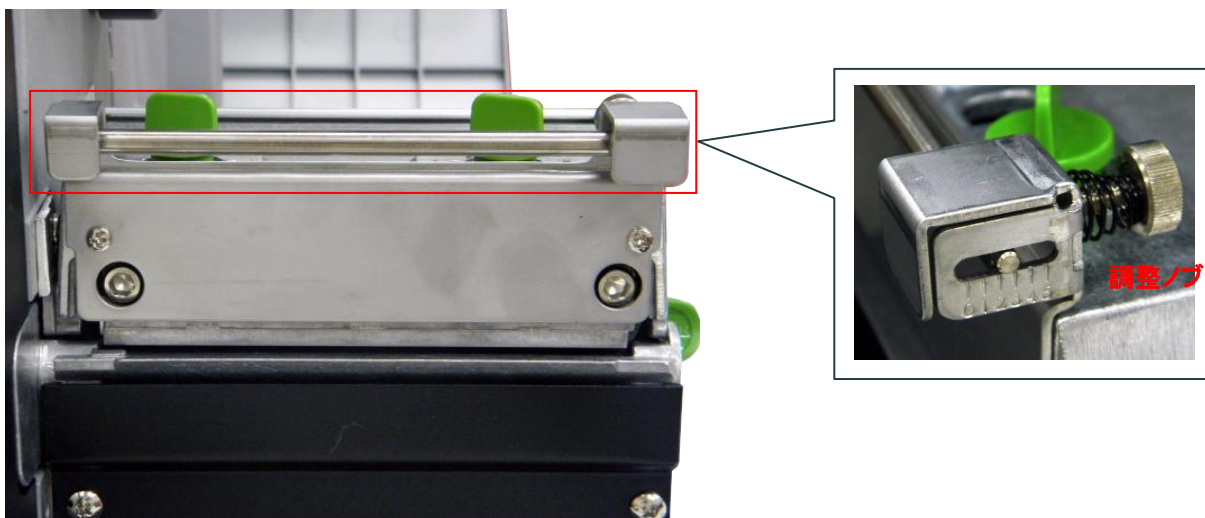
4. 調整ノブ

4.1 プリンタヘッド圧力調整ノブ



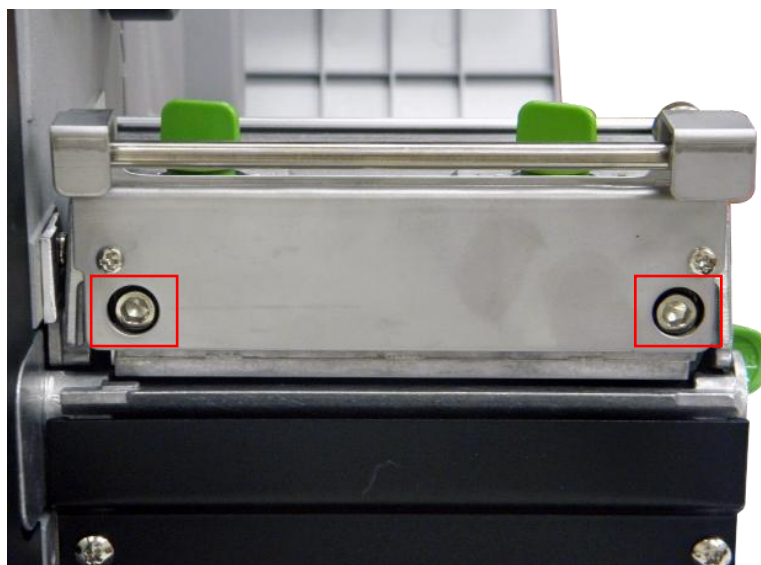
プリンタヘッド圧力調整ノブには、調整できる 5 つのレベルがあります。プリンタの用紙位置合わせは装置の左側のため、正しく印刷するには、メディアの幅に応じて異なる圧力が必要となります。そのため、最適な印刷画質を実現するための圧力調節が必要な場合があります。例えば、ラベル幅が 4 インチの場合、両方のプリンタヘッド圧力調節ノブを同レベルに調節します。ラベルの幅が 2 インチ以下の場合、左側の調整ノブを時計回りに回してプリンタヘッドの圧力を増加し、右側の圧力調整ノブは反時計回りに回してレベル 1 まで低下させます。詳細については、次のセクション 4.4 を参照してください。

4.2 リボンテンション調整モジュール



リボンテンション調整ノブには、調整用の 0 ～ 5 の位置があります。プリンタのリボン位置合わせは装置の左側のため、正しく印刷するには、リボンまたはメディアの幅に応じて異なるテンションが必要となります。そのため、最適な印刷画質を実現するためのリボンテンションノブ調整が必要な場合があります。詳細については、セクション 4.4 を参照してください。

4.3 プリンタヘッド焼付けライン調整ノブ



プリンタヘッド焼付けライン調整ノブは、メディアにより異なる厚みに応じて印刷画質を微調整するために使用します、ノブを回すと、プラテンローラーと繋がるプリンタヘッドの焼付けラインが前方あるいは後方に移動します。

プリンタヘッド焼付けラインのデフォルトは、一般的使用に合わせて設定されています（紙の厚みが 0.20 mm 以下の普通紙）。一般的使用の場合、プリンタヘッド焼付けラインの調整は不要です。印刷画質が良好でない場合、最初にプリンタ濃度を修正したり、プリントヘッド圧力調整ノブを調整したり、Z 軸メカニズムを調整したりしてください。

注意:

プリントヘッド焼付けライン調整ノブの調整が不適切な場合、印刷画質が落ち、プリンタを破損する恐れがあります。ご注意ください。

0.20mm 以上の厚さの用紙を使用した際に印刷画質が落ちる場合は、プリンタヘッド焼付けラインの位置が最適ではない場合があります。印刷画質を向上するには、ヘッドの圧力を上げるか、あるいはプリンタヘッド焼付けラインのノブを時計回りに回して排紙方向に移動し、再度印刷します。印刷結果が鮮明になるまで、必要に応じて焼付けラインの調節とテスト印刷を続けてください。

4.4 リボンの皺を防ぐ機構微調整

このプリンタは発送前に完全な検査を受けています。一般用途印刷において、メディア上にリボンの皺が表れることはありません。リボンの皺はメディアの厚み、プリンタヘッド圧力バランス、リボンフィルム特性、印刷濃度設定などにより発生します。リボンの皺が発生した場合は、次の手順に従ってプリンタ部位を調整してください。

調節可能なプリンタ部品	リボンテンション調整ノブには、調整用の 0 ～ 5 の位置があります。 	
	プリンタヘッド圧力調節ノブには、調節できる 5 つのレベルがあります。時計回りに回すとプリンタヘッドの圧力が上がります。反時計回りに回すと、プリンタヘッドの圧力が下がります。 	
問題点	1. ラベルの左下から右上にかけて皺が発生する(「I」)	2. ラベルの右下から左上にかけて皺が発生する(「\」)
皺の例	 フィード方向	

ラベルの皺が左下から右上にかけて入る場合は、次のように調節してください。 1. 時計回りに回して、リボンテンション調整ノブを「2」または「1」位置に調整します。その後、皺が消えたかどうかを確認します。 2. 右側のプリンタヘッド圧力調節ノブを 1 レベルずつ下げながらラベルを再印刷し、皺がなくなるかどうかを確認します。 3. 右側のプリンタヘッド調節ノブ設定がインデックス 1 (一番圧力が低い位置) の場合、左側のプリンタヘッド圧力を上げてください。 4. 左側のプリンタヘッド調節ノブ設定が 5 (一番圧力が高い位置) で皺がまだ残る場合、両方のノブを 1 に設定し、Z 軸メカニズム調節ノブを時計回りに少し回し、プリンタヘッド圧力配分を微調整して再度印刷します。 ステップ 4 についての注記: * 工場出荷初期設定では、Z 軸ノブは反時計回りに回しきった状態となっています。 * 初めて調節する際は、Z 軸メカニズム調節ノブを、ノブがメカニズムに接触するまで時計回りに回してください。 * 皺がまだ見られる場合は、Z 軸メカニズム調節ノブを各調節毎に約 1/4 周ずつ時計回りに回します。 * Z 軸メカニズム調整ノブを調整することで皺の方向が「/」から「\」に変わった場合、Z 軸メカニズム調整ノブを反時計回りに回して皺を防止してください。	ラベルの皺が右下から左上にかけて入る場合は、次のように調節してください。 1. 反時計回りに回して、リボンテンション調整ノブを「4」または「5」位置に調整します。その後、皺が消えたかどうかを確認します。 2. 左側のプリンタヘッド圧力調節ノブを 1 レベルずつ下げながらラベルを再印刷し、皺がなくなるかどうかを確認します。 3. 左側のプリンタヘッド調節ノブ設定がインデックス 1 (一番圧力が低い位置) の場合、右側のプリンタヘッド圧力を上げてください。
---	---

5. MT シリーズ向けの LCD メニュー機能

5.1 メインメニューに入る

*** キーを使用:**

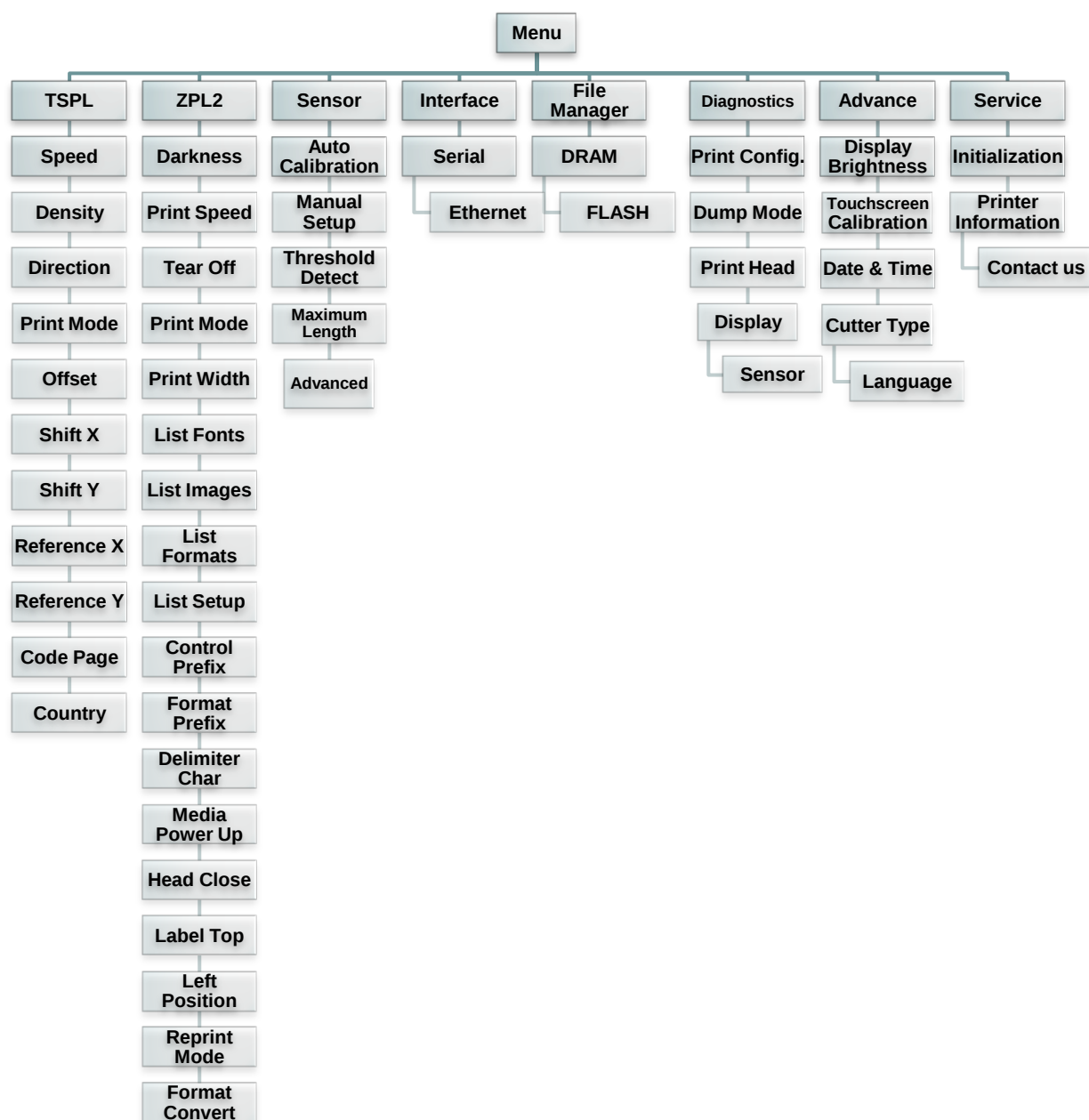
「MENU(メニュー)」ボタンを押し、「SELECT(選択)」ボタンを押して、メインメニューに入ります。

*** タッチディスプレイを使用:**

LCD 上の「Menu(メニュー)」アイコンをタップして、メインメニューに入ります。

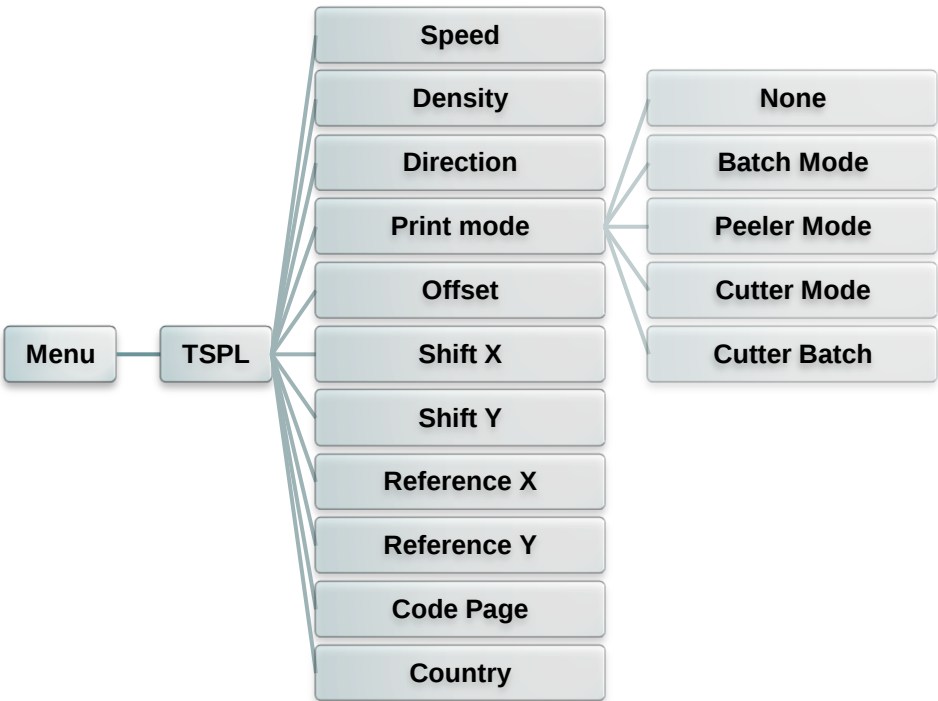
5.2 メインメニュー概要

メインメニューには、8つのカテゴリがあります。コンピュータを接続せずに、簡単にプリンタの設定を行うことができます。詳細については、以下のセクションを参照してください。



5.3 TSPL2

この「TSPL2」カテゴリでは、TSPL2 用のプリンタ設定をセットアップすることができます。



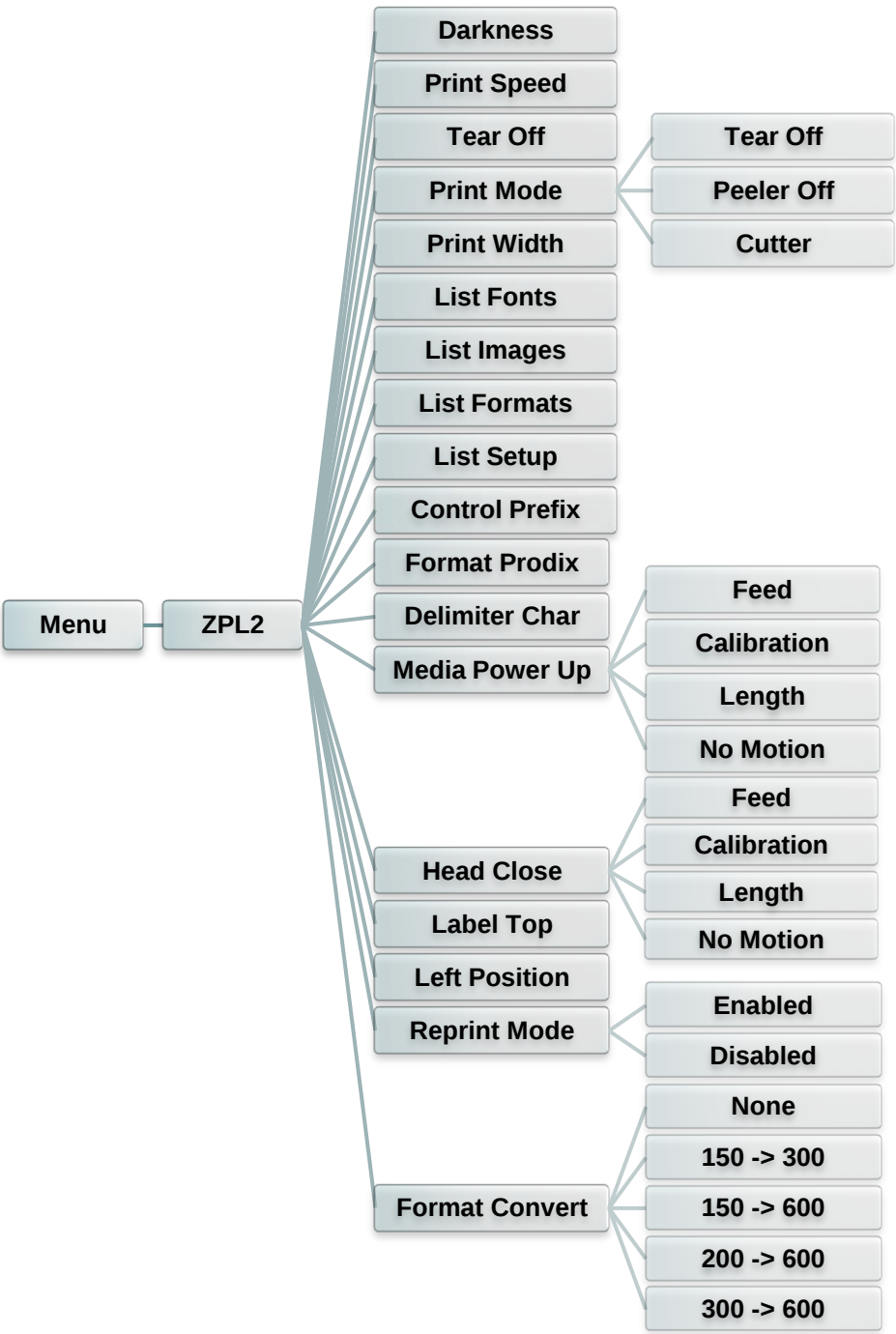
アイテム	説明	デフォルト				
Speed(速度)	このアイテムを使用して印刷速度を設定します。各増加/減少は 1IPS ごとです。利用可能な設定は、4～12 です。	6				
Density(濃度)	このオプションを使用して印刷濃度を設定します。設定可能な範囲は、0～15 です、各ステップは 1 ずつとなります。選択するメディアに応じて、濃度を調整する必要があります。	8				
Direction (方向)	方向設定値は、1 あるいは 0 となります。このアイテムを使用して、排紙方向を設定します。 <table><tr><th>DIRECTION(方向) 0</th><th>DIRECTION(方向) 1</th></tr><tr><td> Direction </td><td> Direction </td></tr></table>	DIRECTION(方向) 0	DIRECTION(方向) 1	Direction	Direction	0
DIRECTION(方向) 0	DIRECTION(方向) 1					
Direction	Direction					
Print mode (印刷モード)	このアイテムを使用して印刷モードを設定します。以下の 5 つのモードがあります。 <table><tr><th>プリンタモード</th><th>説明</th></tr><tr><td>None(なし)</td><td>次のフォームのラベルトップは、プリンタヘッド焼付けラインの位置に並べられます。(テアオフモード)</td></tr></table>	プリンタモード	説明	None(なし)	次のフォームのラベルトップは、プリンタヘッド焼付けラインの位置に並べられます。(テアオフモード)	Batch Mode (バッチモード)
プリンタモード	説明					
None(なし)	次のフォームのラベルトップは、プリンタヘッド焼付けラインの位置に並べられます。(テアオフモード)					

	Batch Mode (バッチモード)	画像が完全に印刷されると、ラベルギャップ/ブラックマークがテアプレートの位置にフィードされて、テアウェイが行われます。	
	Peeler Mode (ピーラーモード)	ラベルピールオフモードを有効化します。	
	Cutter Mode (カッターモード)	ラベルカッターモードを有効化します。	
	Cutter Batch (カッターバッチ)	印刷ジョブの終わりにラベルを一度だけ切ります。	
Offset (オフセット)	このアイテムを使用してメディアの停止位置を微調整します。利用可能な設定値は、“+”から“-”または“0”から“9”です。		+000
Shift X (シフト X)	このアイテムを使用して印刷位置を微調整します。利用可能な設定値は、“+”から“-”または“0”から“9”です。		+000
Shift Y (シフト Y)			+000
Reference X (基準 X)	このアイテムを使用してプリンタの座標点システムの原点を水平および垂直に設定します。利用可能な設定値は、“0”から“9”です。		000
Reference Y (基準 Y)			000
Code page (コードページ)	このアイテムを使用して、国際文字セットのコードページを設定します。		850
Country(国)	このオプションを使用して、国コードを設定します。		001

注記: 付属のソフトウェアドライバを使用して印刷する場合は、ソフトウェアドライバが送出するコマンドが、フロントパネルによる設定を上書きします。

5.4 ZPL2

この「ZPL2」カテゴリでは、ZPL2 用のプリンタ設定をセットアップすることができます。



アイテム	説明	デフォルト
Darkness(濃度)	このアイテムを使用して印刷濃度を設定します。設定可能な範囲は、0～30 です、各ステップは 1 ずつとなります。選択するメディアに応じて、濃度を調整する必要があります。	16

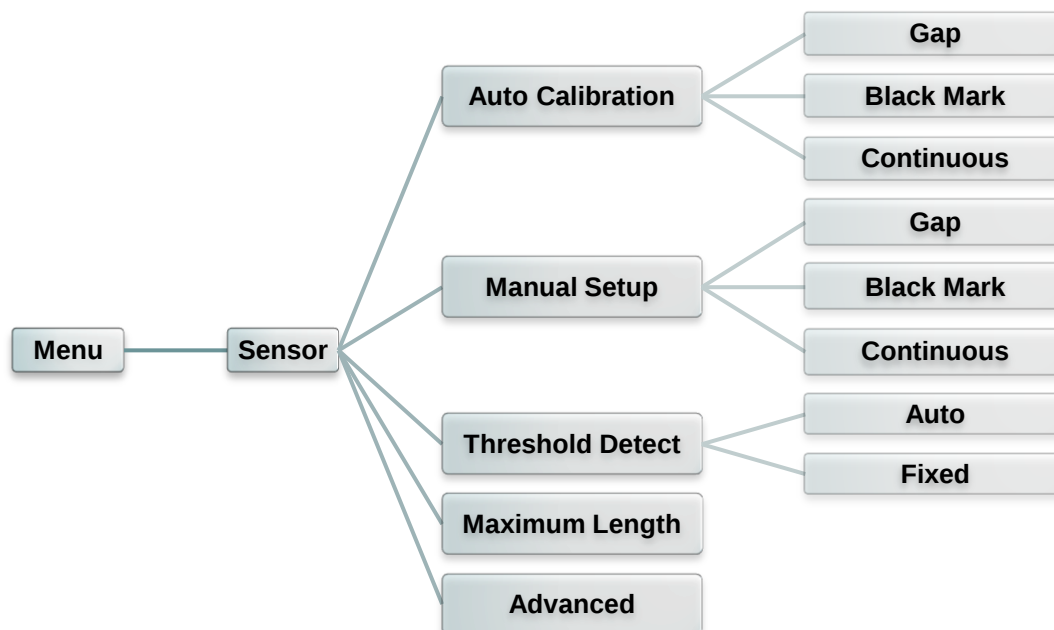
Print Speed (印刷速度)	このアイテムを使用して印刷速度を設定します。各増加/減少は1IPS ごとです。利用可能な設定は、1～6 です。	なし										
Tear Off (テアオフ)	このアイテムを使用してメディアの停止位置を微調整します。利用可能な設定値は、“+”から“-”または“0”から“9”です。	+000										
Print mode (印刷モード)	このアイテムを使用して印刷モードを設定します。以下の 3 つのモードがあります。 <table><tr><th>プリンタモード</th><th>説明</th></tr><tr><td>Tear Off (テアオフ)</td><td>次のフォームのラベルトップは、プリンタヘッド焼付けラインの位置に並べられます。</td></tr><tr><td>Peeler Off (ピーラーオフ)</td><td>ラベルピールオフモードを有効化します。</td></tr><tr><td>Cutter (カッター)</td><td>ラベルカッターモードを有効化します</td></tr></table>	プリンタモード	説明	Tear Off (テアオフ)	次のフォームのラベルトップは、プリンタヘッド焼付けラインの位置に並べられます。	Peeler Off (ピーラーオフ)	ラベルピールオフモードを有効化します。	Cutter (カッター)	ラベルカッターモードを有効化します	Tear Off (テアオフ)		
プリンタモード	説明											
Tear Off (テアオフ)	次のフォームのラベルトップは、プリンタヘッド焼付けラインの位置に並べられます。											
Peeler Off (ピーラーオフ)	ラベルピールオフモードを有効化します。											
Cutter (カッター)	ラベルカッターモードを有効化します											
Print Width (印刷幅)	このアイテムを使用して印刷幅を設定します。利用可能な値は、“0”から“9”です。	812										
List Fonts (フォント一覧)	この機能を使用して、現在プリンタで利用できるフォントのリストをラベルに印刷します。フォントはプリンタの DRAM、Flash あるいはオプションのメモ리카ードに保存されています。	なし										
List Images (画像一覧)	この機能を使用して、現在プリンタで利用できる画像のリストをラベルに印刷します。画像はプリンタの DRAM、Flash あるいはオプションのメモ리카ードに保存されています。	なし										
List Formats (フォーマット一覧)	この機能を使用して、現在プリンタで利用できるフォーマットのリストをラベルに印刷します。フォーマットはプリンタの DRAM、Flash あるいはオプションのメモ리카ードに保存されています。	なし										
List Setup (設定一覧)	この機能を使用して、現在のプリンタ構成をラベルに印刷します。	なし										
Control Prefix (コントロールプレフィックス)	この機能を使用してコントロールプレフィックス文字を設定します。	なし										
Format Prefix (フォーマットプレフィックス)	この機能を使用してフォーマットプレフィックス文字を設定します。	なし										
Delimiter Char (区切り文字)	この機能を使用して区切り文字を設定します。	なし										
Media Power Up (電源オン時メディア)	このオプションを使用して、プリンタの電源をオンにした際のメディアのアクションを設定します。 <table><tr><th>選択肢</th><th>説明</th></tr><tr><td>Feed(フィード)</td><td>プリンタによりラベルがひとつ進みます。</td></tr><tr><td>Calibration (校正)</td><td>プリンタはセンサーのレベルを校正し、長さを決定してラベルをフィードします。</td></tr><tr><td>Length(長さ)</td><td>プリンタは長さを決定してラベルをフィードします。</td></tr><tr><td>No Motion (アクションなし)</td><td>プリンタによりメディアが動くことはありません。</td></tr></table>	選択肢	説明	Feed(フィード)	プリンタによりラベルがひとつ進みます。	Calibration (校正)	プリンタはセンサーのレベルを校正し、長さを決定してラベルをフィードします。	Length(長さ)	プリンタは長さを決定してラベルをフィードします。	No Motion (アクションなし)	プリンタによりメディアが動くことはありません。	No Motion (アクションなし)
選択肢	説明											
Feed(フィード)	プリンタによりラベルがひとつ進みます。											
Calibration (校正)	プリンタはセンサーのレベルを校正し、長さを決定してラベルをフィードします。											
Length(長さ)	プリンタは長さを決定してラベルをフィードします。											
No Motion (アクションなし)	プリンタによりメディアが動くことはありません。											

Head Close (ヘッドクローズ)	このオプションを使用して、プリンタのヘッドを閉じた際のメディアのアクションを設定します。		No Motion (アクションなし)
	選択肢	説明	
	Feed (フィード)	プリンタによりラベルがひとつ進みます。	
	Calibration (校正)	プリンタはセンサーのレベルを校正し、長さを決定してラベルをフィードします。	
	Length (長さ)	プリンタは長さを決定してラベルをフィードします。	
	No Motion (アクションなし)	プリンタによりメディアが動くことはありません。	
Label Top (ラベルトップ)	この機能を使用して、ラベルの垂直方向における印刷位置を調整します。範囲は、-120～+120 ドットです。		0
Left Position (左位置)	この機能を使用して、ラベルの水平方向における印刷位置を調整します。範囲は、-9999～+9999 ドットです。		+0000
Reprint Mode (再印刷モード)	再印刷モードが有効である場合、プリンタのコントロールパネルの Ⓐ ボタンを押すことで、最後のラベルプリンタを再印刷することができます。		無効
Format Convert (フォーマット変換)	ビットマップ倍率を選択します。最初の数字は、元の 1 インチあたりのドット数 (dpi) であり、2 番目の数字はスケーリングする dpi です。		None (なし)

注記: 付属のソフトウェアドライバを使用して印刷する場合は、ソフトウェアドライバが送出するコマンドが、フロントパネルによる設定を上書きします。

5.5 センサー

このオプションを使用して選択したセンサーを校正します。メディアを変更した際は、印刷の前にセンサーを校正することが推奨されます。



アイテム	説明	デフォルト
Auto Calibration (自動校正)	このオプションを使用して、メディアセンサーのタイプをセットし、選択したセンサーを自動的に校正します。プリンタが自動的にセンサーの感度を校正するために2～3ギャップのラベルをフィードします。	なし
Manual Setup (手動設定)	「Automatic(自動)」の場合、メディアに適用することはできません。「Manual(手動)」機能を使って、用紙長とギャップ/Bラインサイズを設定し、センサー感度を校正するためにバックギング/マークをスキャンしてください。	なし
Threshold Detect (しきい値検出)	このオプションは、センサー感度を固定または自動に設定するために使用されます。	Auto(自動)
Maximum Length (最大長)	このオプションは、ラベル校正用に最大長を設定するために使用されます。	253 mm
Advanced (詳細)	この機能を使用して、センサー感度の自動校正の最小用紙長さおよびギャップ/Bラインサイズを設定することができます。	なし

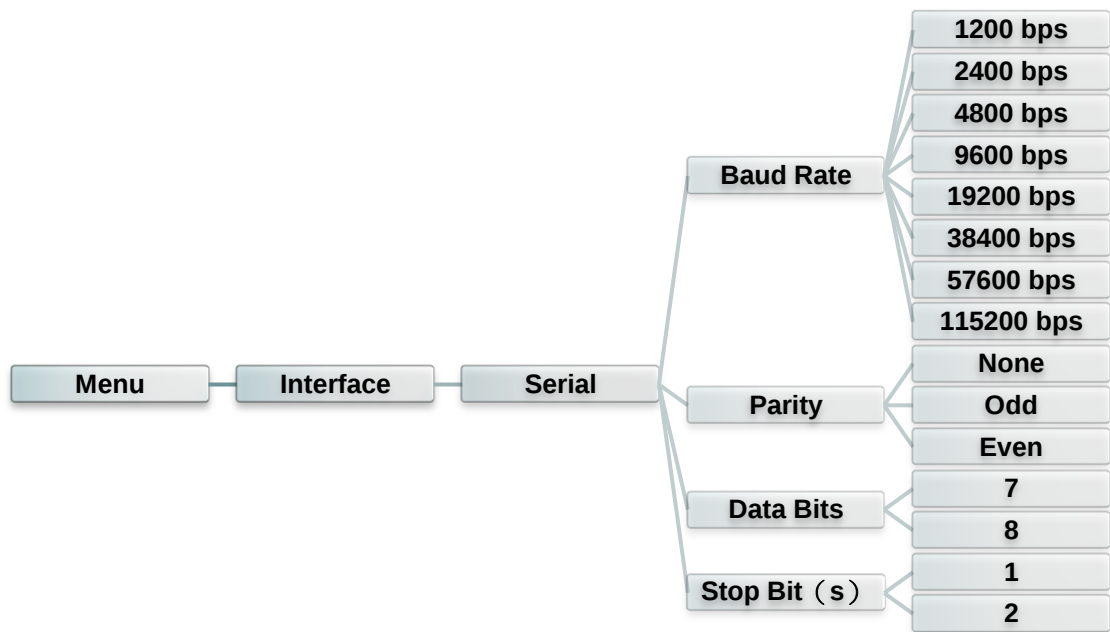
5.6 Interface（インターフェイス）

このオプションを使用して、プリンタインターフェイス設定を設定します。



5.6.1 シリアル通信

このオプションを使用して、プリンタ RS-232 設定を設定します。



アイテム	説明	デフォルト
Baud Rate (ボーレート)	このアイテムを使用して RS-232 ボーレートを設定します。	9600
Parity(パリティ)	このアイテムを使用して RS-232 パリティを設定します。	None(なし)
Data Bits (データビット)	このアイテムを使用して RS-232 データビットを設定します。	8
Stop Bit (ストップビット)	このアイテムを使用して RS-232 ストップビットを設定します。	1

5.6.2 Ethernet(イーサネット)

このメニューを使って、内部イーサネット設定を行い、プリンタのイーサネットモジュールのステータスを確認し、イーサネットモジュールをリセットします。



アイテム	説明	デフォルト
ステータス	このメニューを使用してイーサネット IP アドレスおよび MAC 設定ステータスを確認することができます。	なし
DHCP	このアイテムは、DHCP(動的ホスト構成プロトコル)ネットワークプロトコルをオンまたはオフにするために使用されます。	なし
Static IP (スタティック IP)	このメニューを使用してプリンタの IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを設定します。	なし

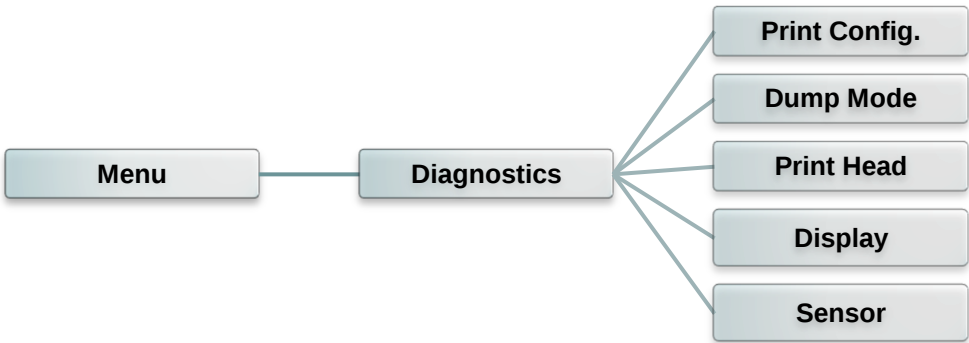
5.7 ファイルマネージャー

この機能を使用して、現在プリンタで利用できるメモリおよびファイルリストを確認します。



アイテム	説明
DRAM	このメニューを使用して、プリンタ DRAM メモリに保存されたファイルを表示、削除、実行(.BAS)することができます。
FLASH	このメニューを使用して、プリンタ Flash メモリに保存されたファイルを表示、削除、実行(.BAS)することができます。

5.8 診断



5.8.1 印刷設定

この機能を使用して、現在のプリンタ構成をラベルに印刷します。構成印刷にはプリンタヘッドテストパターンが印刷され、プリンタヘッドのヒーター部位にドットの破損があるかを確認するのに役立ちます。



セルフテスト印刷	
----- SYSTEM INFORMATION ----- MODEL: xxxxxx FIRMWARE: x.xx CHECKSUM: xxxxxxxx S/N: xxxxxxxxxxxx TCF: NO DATE: 1970/01/01 TIME: 00:04:18 NON-RESET: 110 m (TPH) RESET: 110 m (TPH) NON-RESET: 0 (CUT) RESET: 0 (CUT) -----	モデル名 ファームウェアバージョン ファームウェアチェックサム プリンタシリアル番号 TSC 構成ファイル システム日付 システム時刻 印刷されたマイレージ(メートル) カット回数

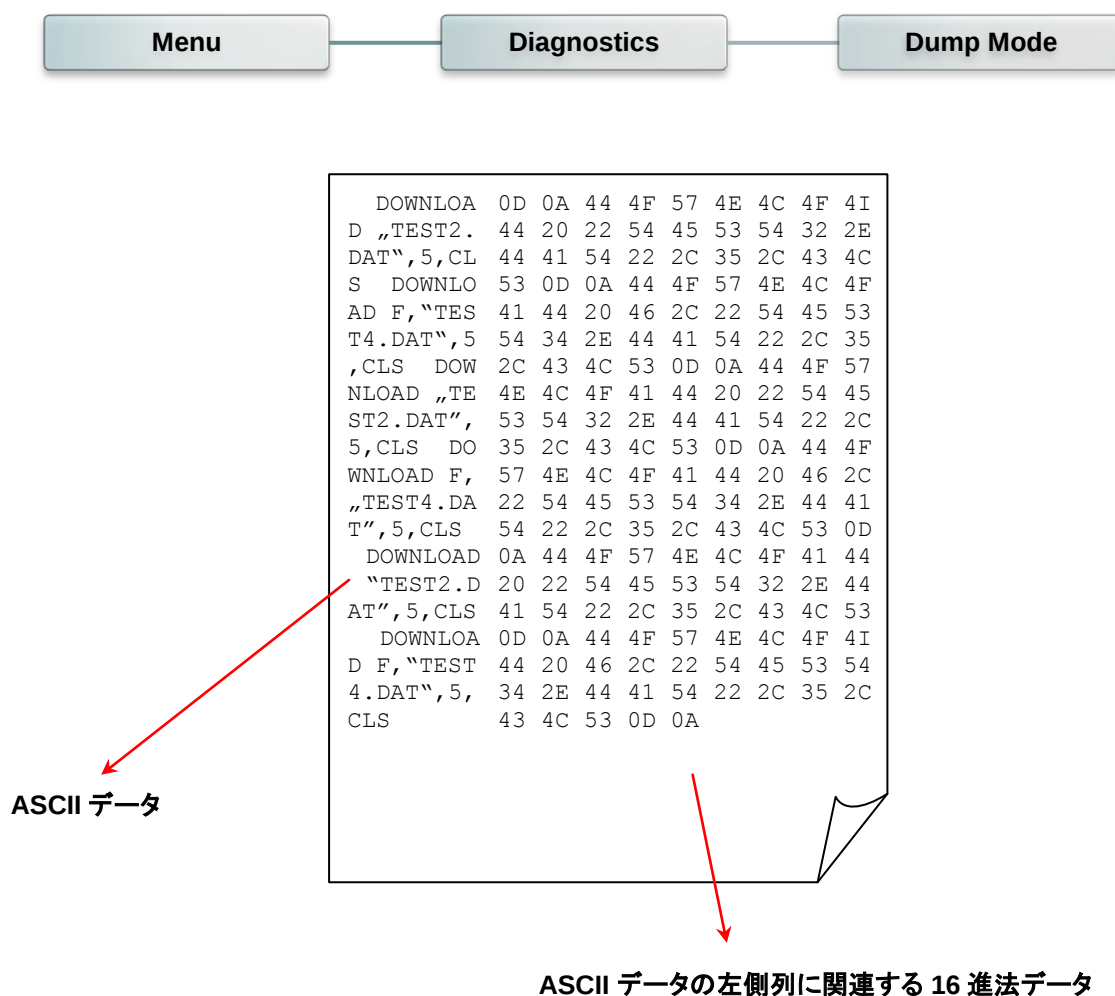
<pre> ----- PRINTING SETTING ----- SPEED: 5 IPS DENSITY: 8.0 WIDTH: 4.00 INCH HEIGHT: 4.00 INCH GAP: 0.00 INCH INTENSION: 5 CODEPAGE: 850 COUNTRY: 001 ----- </pre>	印刷速度(インチ/秒) 印刷濃度 ラベルサイズ(インチ) ギャップ距離(インチ) ギャップ/ブラックマーク センサー 強度 Code page(コードページ) 国コード
<pre> ----- Z SETTING ----- DARKNESS: 16.0 SPEED: 4 IPS WIDTH: 4.00 INCH TILDE: 7EH (~) CARET: 5EH (^) DELIMITER: 2CH (,) POWER UP: NO MOTION HEAD CLOSE: NO MOTION ----- </pre>	ZPL 設定情報 印刷濃度 印刷速度(インチ/秒) ラベルサイズ コントロールプレフィックス フォーマットプレフィックス 区切り文字プレフィックス プリンタ電源オン動作 プリンタヘッドクローズ動作 注記: ZPL は、Zebra® 言語をエミュレートします。
<pre> ----- RS232 SETTING ----- BAUD: 9600 PARITY: NONE DATA BIT: 8 STOP BIT: 1 ----- </pre>	RS232 シリアルポート構成
<pre> ----- DRAM FILE (0 FILES) ----- PHYSICAL XXXX KBYTES AVAILABLE XXXX KBYTES ----- </pre>	ダウンロード済みファイル数 総合 & 空きメモリ容量
<pre> ----- FLASH FILE (0 FILES) ----- PHYSICAL XXXX KBYTES AVAILABLE XXXX KBYTES ----- </pre>	
	プリンタヘッド チェックパターン

注記:

ドット破損の確認は幅 4 インチの用紙幅を必要とします。

5.8.2 ダンプモード

通信ポートからデータを取り入れ、プリンタが受信したデータを印刷します。ダンプモードでは、すべての文字が2列に印刷されます。左側の文字はお客様のシステムから受け取られたもので、右側のデータは文字に対応する16進値です。これにより、ユーザーやエンジニアがプログラムの検証とデバッグを行うことができます。

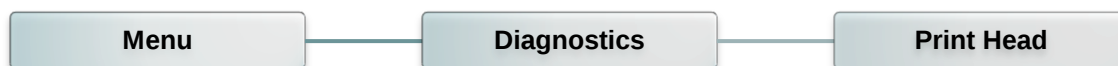


注記:

ダンプモードには幅4インチの用紙幅が必要です。

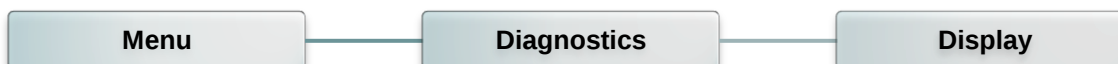
5.8.3 プリンタヘッド

この機能は、プリンタヘッドの温度、抵抗および不良ドットを確認することができます。



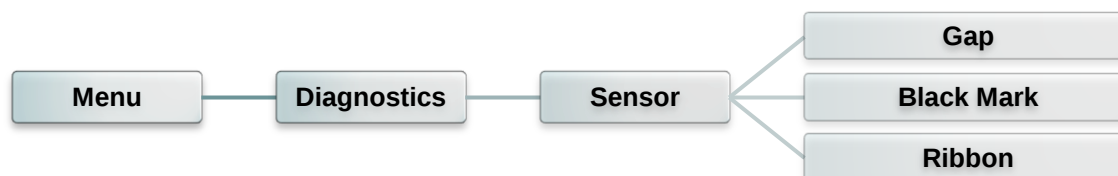
5.8.4 Display(表示)

この機能は、プリンタに対する表示を確認することができます。



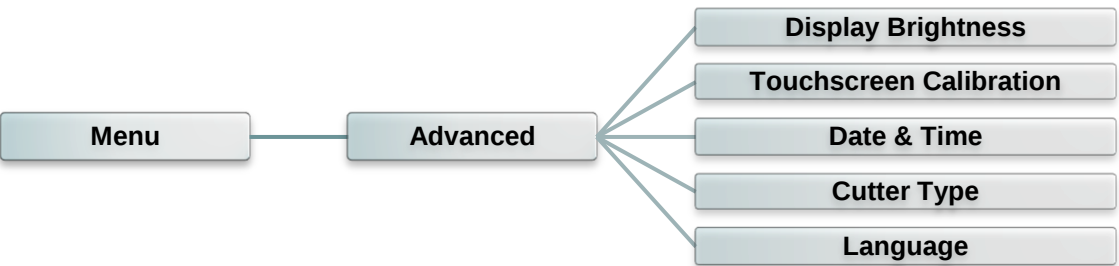
5.8.5 センサー

この機能は、プリンタセンサーの強度および読取値を確認することができます。



5.9 Advanced（詳細）

この機能を使用して、プリンタの詳細設定を行います。



アイテム	説明
Display Brightness (ディスプレイ輝度)	こちらのアイテムは、ディスプレイの輝度の設定に使用されます。
Touchscreen Calibration (タッチパネル校正)	このアイテムは、タッチパネルの最良結果のために十字の中心を校正するために使用されます。
Date & Time (日付&時刻)	このアイテムは、ディスプレイの日付および時刻を設定するために使用されます。
Cutter Type (カッタータイプ)	このアイテムは、カッタータイプを設定するために使用されます。
Language(言語)	このアイテムは、ディスプレイの言語を設定するために使用されます。

5.10 Service(サービス)

この機能を使用してプリンタ設定を初期設定に戻し、プリンタマの情報を確認します。



アイテム	説明
Initialization (初期化)	この機能は、プリンタ設定を初期設定に復元するために使用されます。
Printer Information (プリンタ情報)	この機能は、プリンタシリアル番号、印刷されたマイレージ(m)、ラベル(個)および切断回数を確認するために使用されます。
Contact us (連絡先)	この機能は、技術サポートサービスの連絡先情報を確認するために使用されます

6. MU シリーズ向けの LCD メニュー機能

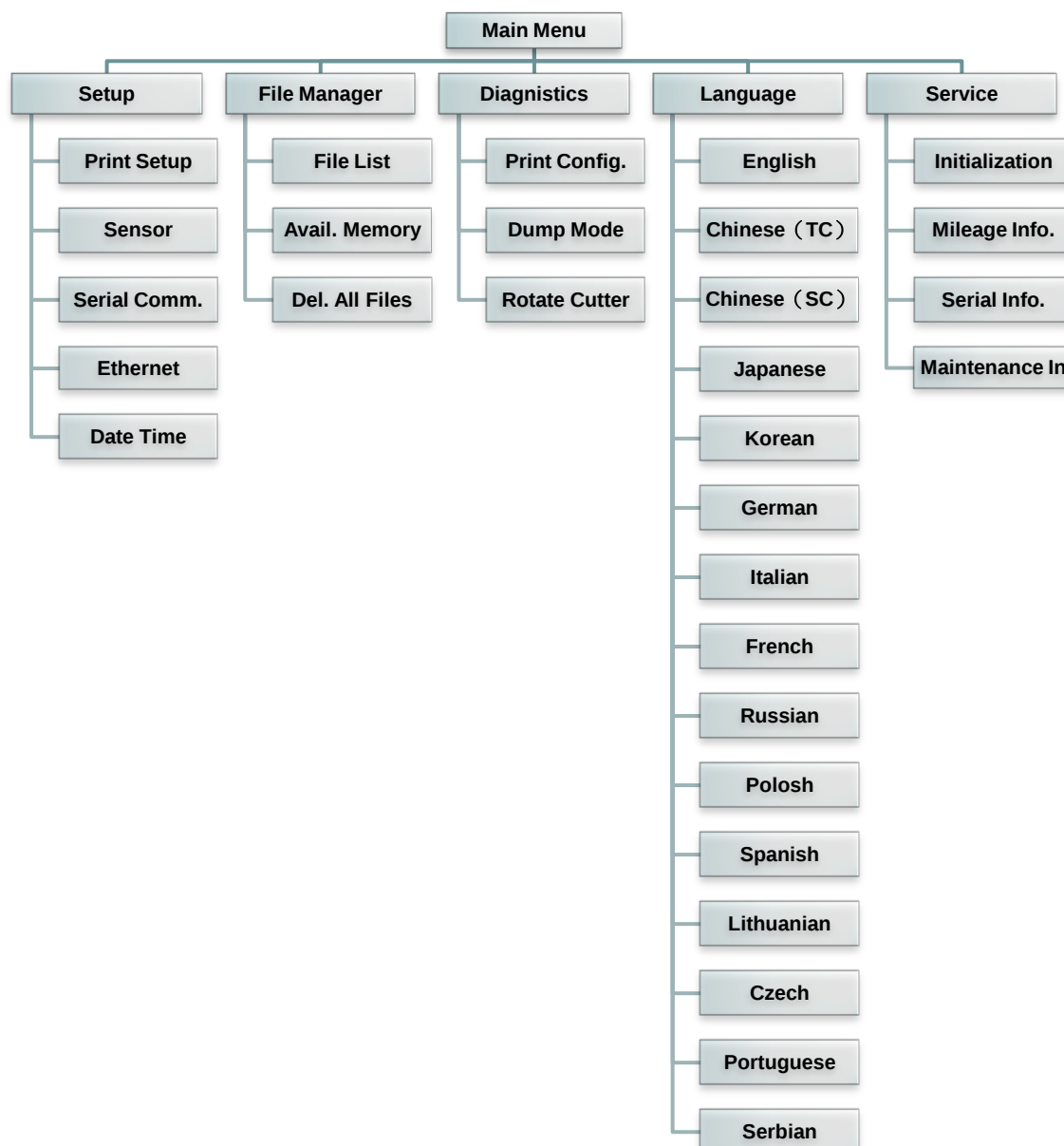
6.1 メインメニューに入る

☰ **MENU** ボタンを押して、メインメニューに入るか、設定をキャンセルして、前メニューに戻ります。

UP ⬆ ボタンを押して、メニューリストを上スクロールします。**DOWN** ⬇ ボタンを押して、メニューリストを下スクロールします。**SELECT** ボタンを押して、値をプリンタに設定します。

6.2 メインメニュー概要

メインメニューには、5つのカテゴリがあります。コンピュータを接続せずに、簡単にプリンタの設定を行うことができます。詳細については、以下のセクションを参照してください。



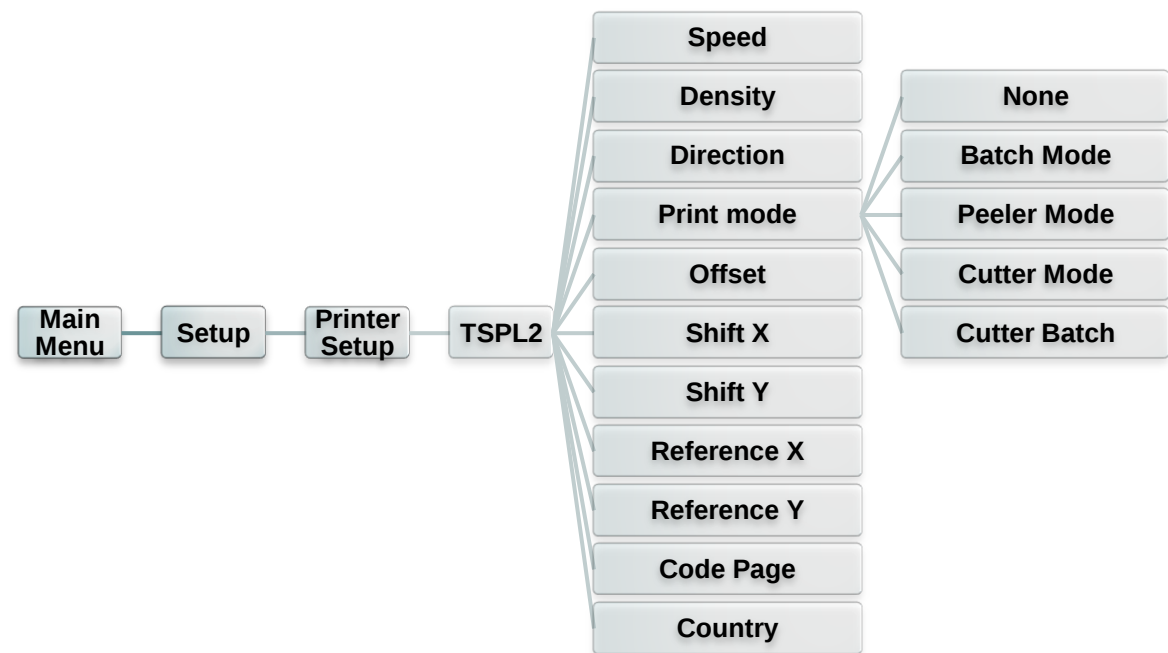
6.3 設定

この「Setup(設定)」カテゴリでは、TSPL2、ZPL2、センサー、シリアルインターフェイス、およびイーサネットインターフェイスに対するプリンタ設定を行うことができます。

6.3.1 プリンタ設定 (TSPL2/ZPL2)

TSPL2

この「TSPL」カテゴリでは、TSPL2 用のプリンタ設定をセットアップすることができます。



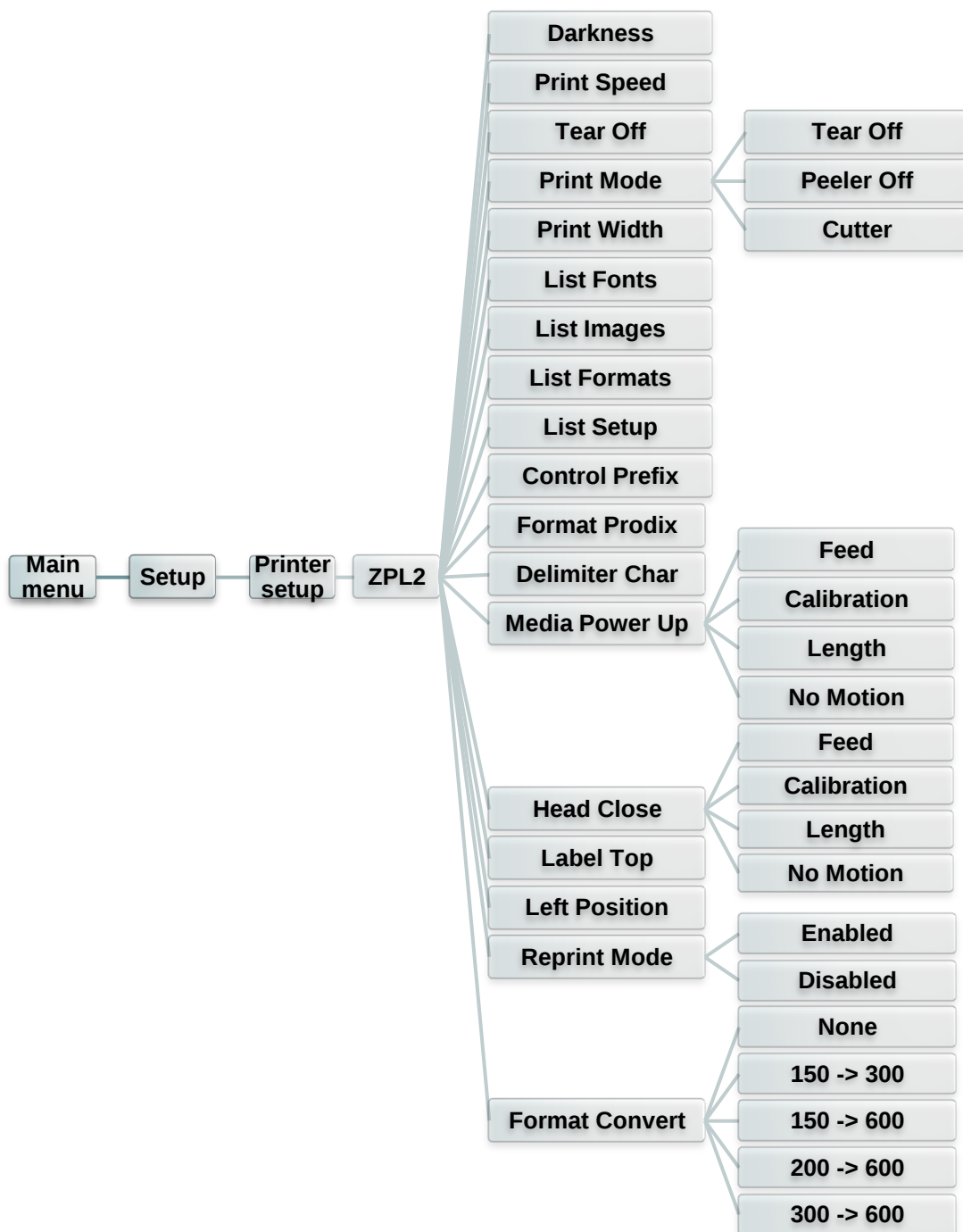
アイテム	説明	デフォルト
Speed(速度)	このアイテムを使用して印刷速度を設定します。各増加/減少は 1IPS ごとです。利用可能な設定は、4～12 です。	6
Density(濃度)	このオプションを使用して印刷濃度を設定します。設定可能な範囲は、0～15 です、各ステップは 1 ずつとなります。選択するメディアに応じて、濃度を調整する必要があります。	8

Direction (方向)	方向設定値は、1 あるいは 0 となります。このアイテムを使用して、排紙方向を設定します。 DIRECTION(方向) 0 DIRECTION(方向) 1 Direction FEED Direction	0												
Print mode (印刷モード)	このアイテムを使用して印刷モードを設定します。以下の 5 つのモードがあります。 <table><tr><th>プリンタモード</th><th>説明</th></tr><tr><td>None (なし)</td><td>次のフォームのラベルトップは、プリンタヘッド焼付けラインの位置に並べられます。(テアオフモード)</td></tr><tr><td>Batch Mode (バッチモード)</td><td>画像が完全に印刷されると、ラベルギャップ/ブラックマークがテアプレートの位置にフィードされて、テアアウェイが行われます。</td></tr><tr><td>Peeler Mode (ピーラーモード)</td><td>ラベルピールオフモードを有効化します。</td></tr><tr><td>Cutter Mode (カッターモード)</td><td>ラベルカッターモードを有効化します。</td></tr><tr><td>Cutter Batch (カッターバッチ)</td><td>印刷ジョブの終わりにラベルを一度だけ切ります。</td></tr></table>	プリンタモード	説明	None (なし)	次のフォームのラベルトップは、プリンタヘッド焼付けラインの位置に並べられます。(テアオフモード)	Batch Mode (バッチモード)	画像が完全に印刷されると、ラベルギャップ/ブラックマークがテアプレートの位置にフィードされて、テアアウェイが行われます。	Peeler Mode (ピーラーモード)	ラベルピールオフモードを有効化します。	Cutter Mode (カッターモード)	ラベルカッターモードを有効化します。	Cutter Batch (カッターバッチ)	印刷ジョブの終わりにラベルを一度だけ切ります。	Batch Mode (バッチモード)
プリンタモード	説明													
None (なし)	次のフォームのラベルトップは、プリンタヘッド焼付けラインの位置に並べられます。(テアオフモード)													
Batch Mode (バッチモード)	画像が完全に印刷されると、ラベルギャップ/ブラックマークがテアプレートの位置にフィードされて、テアアウェイが行われます。													
Peeler Mode (ピーラーモード)	ラベルピールオフモードを有効化します。													
Cutter Mode (カッターモード)	ラベルカッターモードを有効化します。													
Cutter Batch (カッターバッチ)	印刷ジョブの終わりにラベルを一度だけ切ります。													
Offset (オフセット)	このアイテムを使用してメディアの停止位置を微調整します。利用可能な設定値は、“+”から“-”または“0”から“9”です。	+000												
Shift X (シフト X)	このアイテムを使用して印刷位置を微調整します。利用可能な設定値は、“+”から“-”または“0”から“9”です。	+000												
Shift Y (シフト Y)		+000												
Reference X (基準 X)	このアイテムを使用してプリンタの座標点システムの原点を水平および垂直に設定します。利用可能な設定値は、“0”から“9”です。	000												
Reference Y (基準 Y)		000												
Code page (コードページ)	このアイテムを使用して、国際文字セットのコードページを設定します。	850												
Country(国)	このオプションを使用して、国コードを設定します。	001												

注記: 付属のソフトウェアドライバを使用して印刷する場合は、ソフトウェアドライバが送出するコマンドが、フロントパネルによる設定を上書きします。

ZPL2

この「ZPL2」カテゴリでは、ZPL2 用のプリンタ設定をセットアップすることができます。



アイテム	説明	デフォルト
Darkness (濃度)	このアイテムを使用して印刷濃度を設定します。設定可能な範囲は、0～30 です、各ステップは 1 ずつとなります。選択するメディアに応じて、濃度を調整する必要があります。	16
Print Speed (印刷速度)	このアイテムを使用して印刷速度を設定します。各増加/減少は 1IPS ごとです。利用可能な設定は、1～6 です。	2

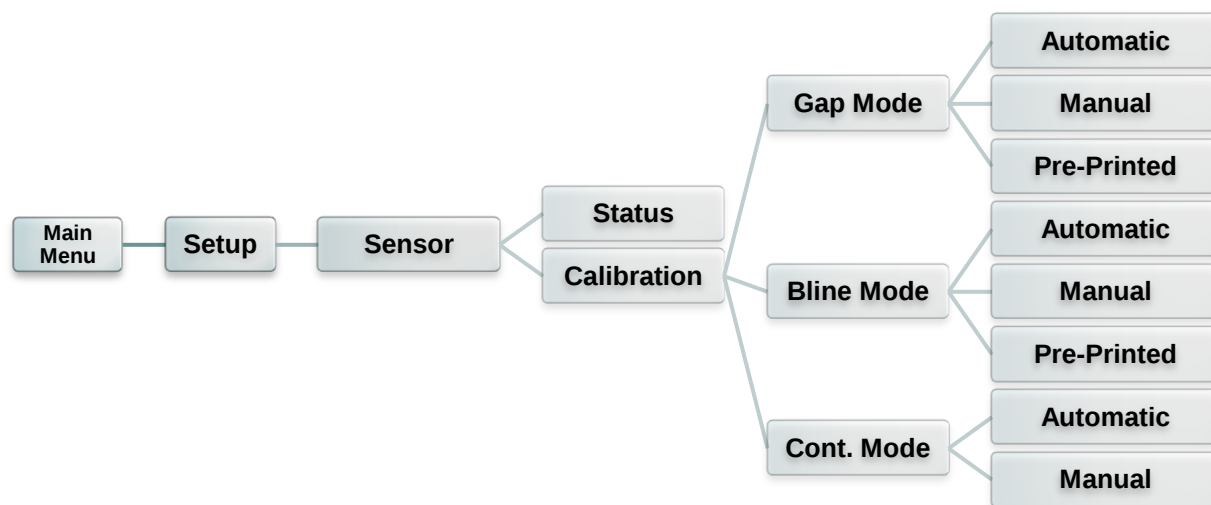
Tear Off (テアオフ)	このアイテムを使用してメディアの停止位置を微調整します。利用可能な設定値は、“+”から“-”または“0”から“9”です。	+000										
Print mode (印刷モード)	このアイテムを使用して印刷モードを設定します。以下の 3 つのモードがあります。 <table><tr><th>プリンタモード</th><th>説明</th></tr><tr><td>Tear Off (テアオフ)</td><td>次のフォームのラベルトップは、プリンタヘッド焼け付けラインの位置に並べられます。</td></tr><tr><td>Peeler Off (ピーラーオフ)</td><td>ラベルピールオフモードを有効化します。</td></tr><tr><td>Cutter (カッター)</td><td>ラベルカッターモードを有効化します</td></tr></table>	プリンタモード	説明	Tear Off (テアオフ)	次のフォームのラベルトップは、プリンタヘッド焼け付けラインの位置に並べられます。	Peeler Off (ピーラーオフ)	ラベルピールオフモードを有効化します。	Cutter (カッター)	ラベルカッターモードを有効化します	Tear Off (テアオフ)		
プリンタモード	説明											
Tear Off (テアオフ)	次のフォームのラベルトップは、プリンタヘッド焼け付けラインの位置に並べられます。											
Peeler Off (ピーラーオフ)	ラベルピールオフモードを有効化します。											
Cutter (カッター)	ラベルカッターモードを有効化します											
Print Width (印刷幅)	このアイテムを使用して印刷幅を設定します。利用可能な値は、“0”から“9”です。	812										
List Fonts (フォント一覧)	この機能を使用して、現在プリンタで利用できるフォントのリストをラベルに印刷します。フォントはプリンタの DRAM、Flash あるいはオプションのメモ리카ードに保存されています。	なし										
List Images (画像一覧)	この機能を使用して、現在プリンタで利用できる画像のリストをラベルに印刷します。画像はプリンタの DRAM、Flash あるいはオプションのメモ리카ードに保存されています。	なし										
List Formats (フォーマット一覧)	この機能を使用して、現在プリンタで利用できるフォーマットのリストをラベルに印刷します。フォーマットはプリンタの DRAM、Flash あるいはオプションのメモ리카ードに保存されています。	なし										
List Setup (設定一覧)	この機能を使用して、現在のプリンタ構成をラベルに印刷します。	なし										
Control Prefix (コントロールプレフィックス)	この機能を使用してコントロールプレフィックス文字を設定します。	なし										
Format Prefix (フォーマットプレフィックス)	この機能を使用してフォーマットプレフィックス文字を設定します。	なし										
Delimiter Char (区切り文字)	この機能を使用して区切り文字を設定します。	なし										
Media Power Up (電源オン時メディア)	このオプションを使用して、プリンタの電源をオンにした際のメディアのアクションを設定します。 <table><tr><th>選択肢</th><th>説明</th></tr><tr><td>Feed(フィード)</td><td>プリンタによりラベルがひとつ進みます。</td></tr><tr><td>Calibration (校正)</td><td>プリンタはセンサーのレベルを校正し、長さを決定してラベルをフィードします。</td></tr><tr><td>Length(長さ)</td><td>プリンタは長さを決定してラベルをフィードします。</td></tr><tr><td>No Motion (アクションなし)</td><td>プリンタによりメディアが動くことはありません。</td></tr></table>	選択肢	説明	Feed(フィード)	プリンタによりラベルがひとつ進みます。	Calibration (校正)	プリンタはセンサーのレベルを校正し、長さを決定してラベルをフィードします。	Length(長さ)	プリンタは長さを決定してラベルをフィードします。	No Motion (アクションなし)	プリンタによりメディアが動くことはありません。	No Motion (アクションなし)
選択肢	説明											
Feed(フィード)	プリンタによりラベルがひとつ進みます。											
Calibration (校正)	プリンタはセンサーのレベルを校正し、長さを決定してラベルをフィードします。											
Length(長さ)	プリンタは長さを決定してラベルをフィードします。											
No Motion (アクションなし)	プリンタによりメディアが動くことはありません。											

Head Close (ヘッドクローズ)	このオプションを使用して、プリンタのヘッドを閉じた際のメディアのアクションを設定します。		No Motion (アクションなし)
	選択肢	説明	
	Feed (フィード)	プリンタによりラベルがひとつ進みます。	
	Calibration(校正)	プリンタはセンサーのレベルを校正し、長さを決定してラベルをフィードします。	
	Length(長さ)	プリンタは長さを決定してラベルをフィードします。	
	No Motion (アクションなし)	プリンタによりメディアが動くことはありません。	
Label Top (ラベルトップ)	この機能を使用して、ラベルの垂直方向における印刷位置を調整します。範囲は、-120～+120ドットです。		0
Left Position (左位置)	この機能を使用して、ラベルの水平方向における印刷位置を調整します。範囲は、-9999～+9999ドットです。		+0000
Reprint Mode (再印刷モード)	再印刷モードが有効である場合、プリンタのコントロールパネルの  ボタンを押すことで、最後のラベルプリンタを再印刷することができます。		無効
Format Convert (フォーマット変換)	ビットマップ倍率を選択します。最初の数字は、元の 1 インチあたりのドット数 (dpi) であり、2 番目の数字はスケーリングする dpi です。		None (なし)

注記: 付属のソフトウェアドライバを使用して印刷する場合は、ソフトウェアドライバが送出するコマンドが、フロントパネルによる設定を上書きします。

6.3.2 センサー

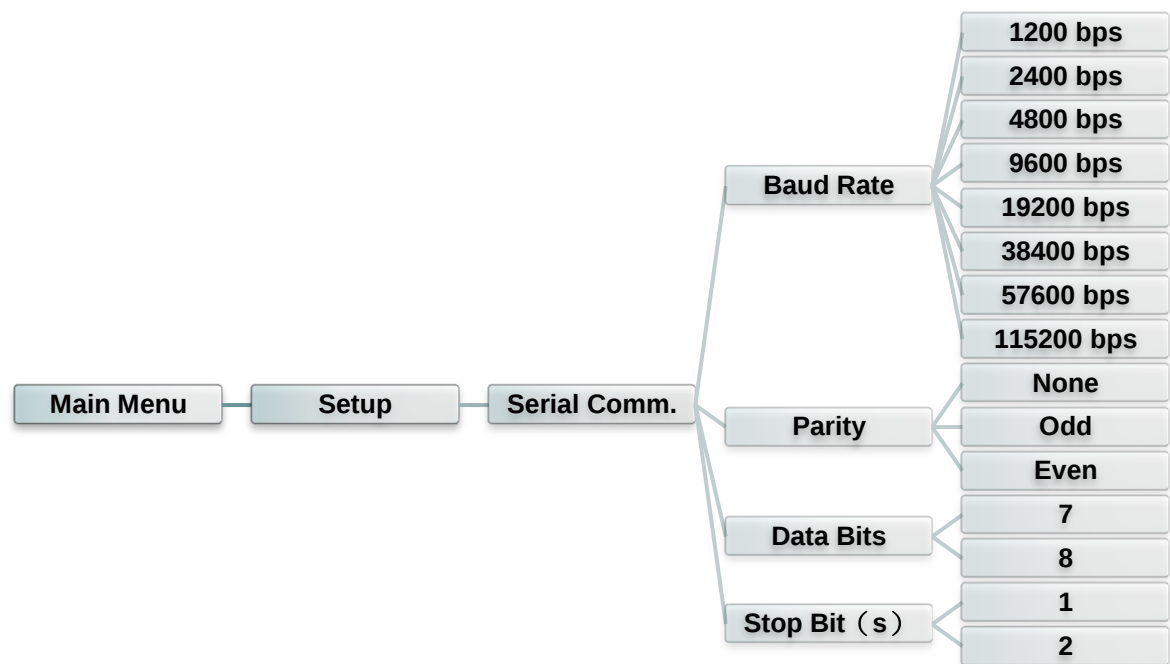
このオプションを使用して選択したセンサーを校正します。メディアを変更した際は、印刷の前にセンサーを校正することが推奨されます。



アイテム	説明	デフォルト
Status (ステータス)	プリンタのセンサーステータスを確認する際に使用する機能です。	なし
Gap Mode (ギャップモード)	この機能を使用して、メディアセンサーのタイプをセットし、センサーを校正します。	なし
Bline Mode (B ラインモード)	この機能を使用して、メディアセンサーのタイプをセットし、センサーを校正します。	なし
Cont. Mode (連続モード)	この機能を使用して、連続メディアセンサーのタイプをセットし、センサーを校正します。	なし
Automatic (自動)	プリンタが自動的にセンサーの感度を校正するために 2～3 ギャップのラベルをフィードします。	なし
Manual (手動)	「Automatic(自動)」の場合、メディアに適用することはできません。「Manual(手動)」機能を使って、用紙長とギャップ/B ラインサイズを設定し、センサー感度を校正するためにバックিং/マークをスキャンしてください。	なし
Pre-Printed (事前印刷)	この機能を使用して、センサー感度の自動校正の前に最小用紙長さおよび最大ギャップ/B ライン長さを設定することができます。	なし

6.3.3 シリアル通信

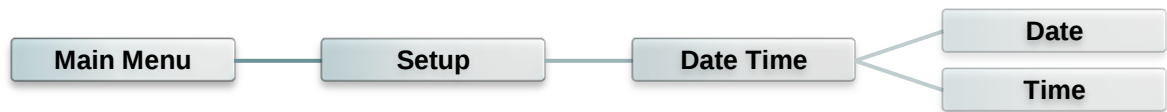
このオプションを使用して、プリンタ RS-232 設定を設定します。



アイテム	説明	デフォルト
Baud Rate (ボーレート)	このアイテムを使用して RS-232 ボーレートを設定します。	9600
Parity (パリティ)	このアイテムを使用して RS-232 パリティを設定します。	None (なし)
Data Bits (データビット)	このアイテムを使用して RS-232 データビットを設定します。	8
Stop Bit (ストップビット)	このアイテムを使用して RS-232 ストップビットを設定します。	1

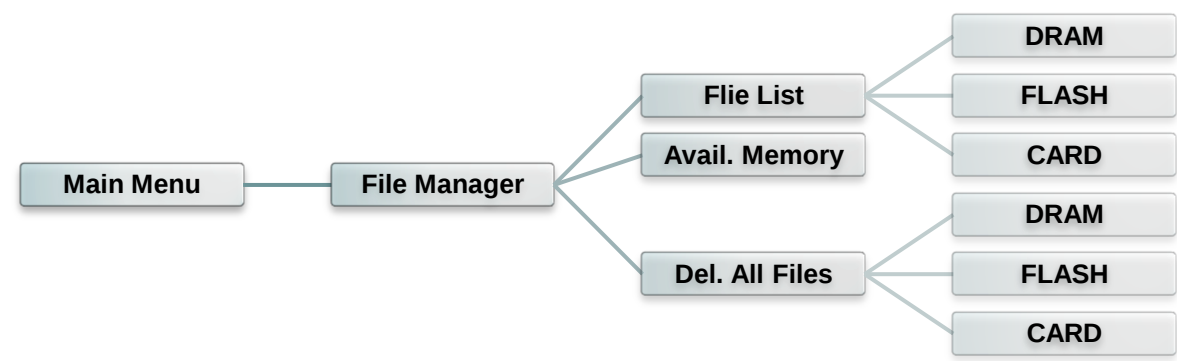
6.3.4 Date Time (日付 & 時刻)

このオプションは、RTC の日付 & 時刻の設定に使用されます。



6.4 ファイルマネージャー

この機能を使用して、現在プリンタで使用できるメモリおよびファイルリストを確認します。



アイテム	説明
File List (ファイル一覧)	このメニューを使用して、プリンタ DRAM/Flash/カードメモリに保存されたファイルを表示、削除、実行(.BAS)することができます。
Avail. Memory (利用可能メモリ)	このメニューを使用してメモリの空きスペースを表示します。
Del. All Files (すべてのファイルを削除)	このメニューを使用してすべてのファイルを削除します。

6.5 診断



6.5.1 印刷設定

この機能を使用して、現在のプリンタ構成をラベルに印刷します。構成印刷にはプリンタヘッドテストパターンが印刷され、プリンタヘッドのヒーター部位にドットの破損があるかを確認するのに役立ちます。



セルフテスト印刷

SYSTEM INFORMATION

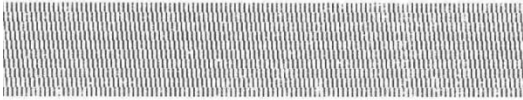
MODEL: XXXXXX
FIRMWARE: X.XX
CHECKSUM: XXXXXXXX
S/N: XXXXXXXXXXXX
TCF: NO
DATE: 1970/01/01
TIME: 00:04:18
NON-RESET: 110 m (TPH)
RESET: 110 m (TPH)
NON-RESET: 0 (CUT)
RESET: 0 (CUT)

PRINTING SETTING

SPEED: 5 IPS
DENSITY: 8.0
WIDTH: 4.00 INCH
HEIGHT: 4.00 INCH
GAP: 0.00 INCH
INTENSION: 5
CODEPAGE: 850
COUNTRY: 001

モデル名
ファームウェアバージョン
ファームウェアチェックサム
プリンタシリアル番号
TSC 構成ファイル
システム日付
システム時刻
印刷されたマイレージ(メートル)
カット回数

印刷速度(インチ/秒)
印刷濃度
ラベルサイズ(インチ)
ギャップ距離(インチ)
ギャップ/ブラックマーク センサー
強度
Code page(コードページ)
国コード

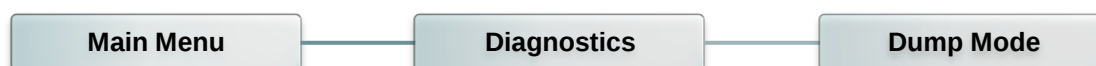
<pre> ----- Z SETTING ----- DARKNESS: 16.0 SPEED: 4 IPS WIDTH: 4.00 INCH TILDE: 7EH (~) CARET: 5EH (^) DELIMITER: 2CH (,) POWER UP: NO MOTION HEAD CLOSE: NO MOTION ----- </pre>	ZPL 設定情報 - 印刷濃度 - 印刷速度(インチ/秒) - ラベルサイズ - コントロールプレフィックス - フォーマットプレフィックス - 区切り文字プレフィックス - プリンタ電源オン動作 - プリンタヘッドクローズ動作
<pre> ----- RS232 SETTING ----- BAUD: 9600 PARITY: NONE DATA BIT: 8 STOP BIT: 1 ----- </pre>	注記: ZPL は、Zebra®言語をエミュレートします。 RS232 シリアルポート構成
<pre> ----- DRAM FILE (0 FILES) ----- PHYSICAL XXXX KBYTES AVAILABLE XXXX KBYTES ----- FLASH FILE (0 FILES) ----- PHYSICAL XXXX KBYTES AVAILABLE XXXX KBYTES ----- </pre>	ダウンロード済みファイル数 総合 & 空きメモリ容量
	プリンタヘッド チェックパターン

注記:

ドット破損の確認は幅 4 インチの用紙幅を必要とします。

6.5.2 ダンプモード

通信ポートからデータを取り入れ、プリンタが受信したデータを印刷します。ダンプモードでは、すべての文字が2列に印刷されます。左側の文字はお客様のシステムから受け取られたもので、右側のデータは文字に対応する16進値です。これにより、ユーザーやエンジニアがプログラムの検証とデバッグを行うことができます。



```
DOWNLOA 0D 0A 44 4F 57 4E 4C 4F 4I
D „TEST2. 44 20 22 54 45 53 54 32 2E
DAT“,5,CL 44 41 54 22 2C 35 2C 43 4C
S DOWNLO 53 0D 0A 44 4F 57 4E 4C 4F
AD F,„TES 41 44 20 46 2C 22 54 45 53
T4.DAT“,5 54 34 2E 44 41 54 22 2C 35
,CLS DOW 2C 43 4C 53 0D 0A 44 4F 57
NLOAD „TE 4E 4C 4F 41 44 20 22 54 45
ST2.DAT“, 53 54 32 2E 44 41 54 22 2C
5,CLS DO 35 2C 43 4C 53 0D 0A 44 4F
WNLOAD F, 57 4E 4C 4F 41 44 20 46 2C
„TEST4.DA 22 54 45 53 54 34 2E 44 41
T“,5,CLS 54 22 2C 35 2C 43 4C 53 0D
DOWNLOAD 0A 44 4F 57 4E 4C 4F 41 44
„TEST2.D 20 22 54 45 53 54 32 2E 44
AT“,5,CLS 41 54 22 2C 35 2C 43 4C 53
DOWNLOA 0D 0A 44 4F 57 4E 4C 4F 4I
D F,„TEST 44 20 46 2C 22 54 45 53 54
4.DAT“,5, 34 2E 44 41 54 22 2C 35 2C
CLS 43 4C 53 0D 0A
```

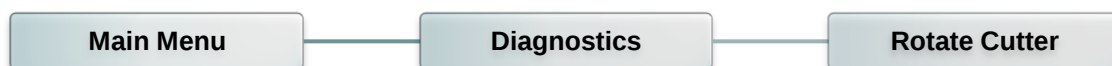
ASCII データ

ASCII データの左側列に関連する 16 進法データ

注記:
ダンプモードには幅4インチの用紙幅が必要です。

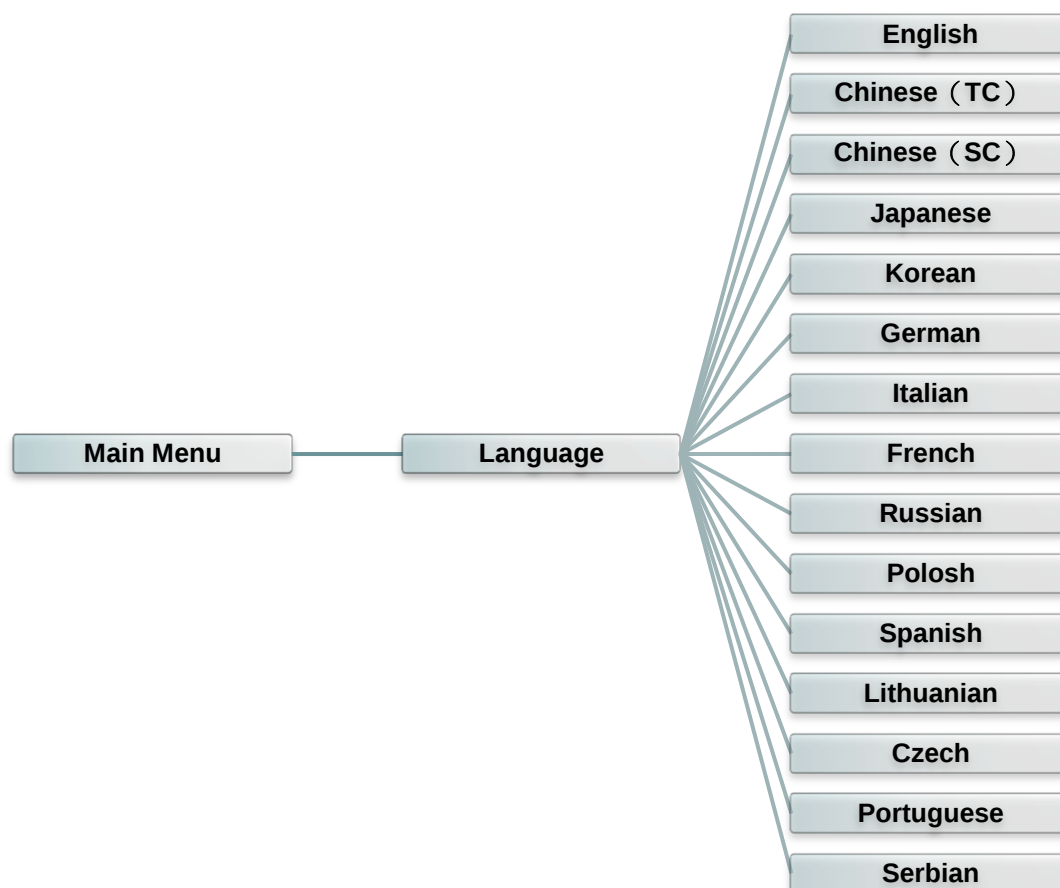
6.5.3 カッター回転

カッター内で用紙が詰まった場合に、この機能によりカッター刃を前方あるいは後方に回転させ、詰まった紙を容易に取り除き易くします。



6.6 Language(言語)

このアイテムは、ディスプレイの言語を設定するために使用されます。



6.7 Service(サービス)

この機能を使用してプリンタ設定を初期設定に戻し、プリンタマの情報を確認します。

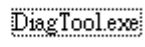


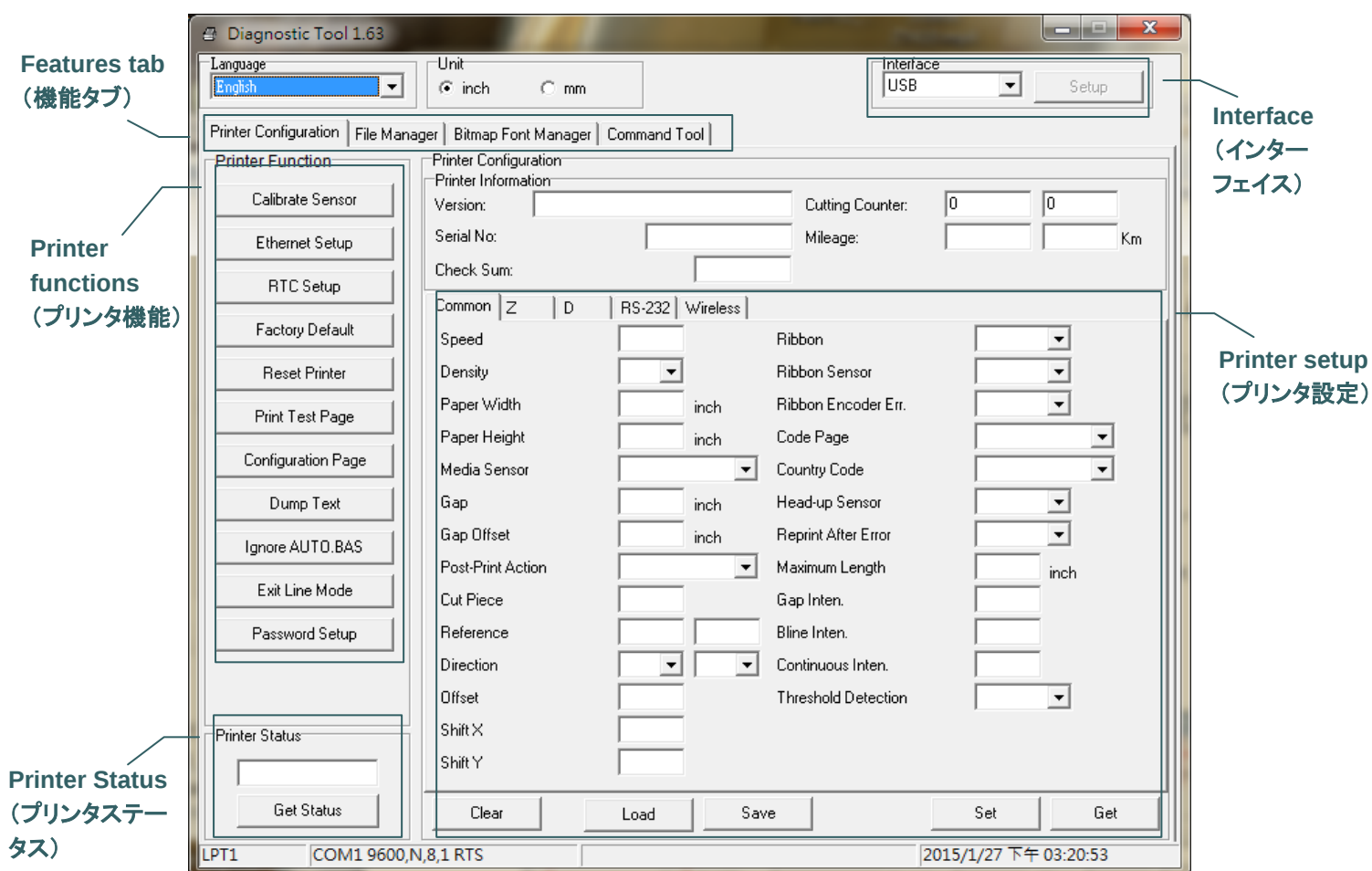
アイテム	説明
Initialization (初期化)	この機能は、プリンタ設定を初期設定に復元するために使用されます。
Mileage Info. (マイレージ情報)	この機能は、印刷されたマイレージを確認するために使用されます
Serial Info. (シリアル情報)	この機能は、プリンタのシリアル番号を確認するために使用されます
Maintenance Info (メンテナンス情報)	この機能は、メンテナンス情報を確認するために使用されます

7. 診断ツール

TSC の診断ユーティリティは、ユーザーがプリンタの設定や状態の検索、プリンタ設定の変更、グラフィックやフォント、ファームウェアのダウンロード、プリンタのビットマップフォントの作成、追加のコマンドのプリンタへの送信などを実行できる機能をまとめた統合ツールです。この強力なツールにより、ユーザーはプリンタのステータスや設定を瞬時に確認できるため、問題点のトラブルシューティングが容易になります。

7.1 診断ツールの開始

1. Diagnostic tool (診断ツールアイコン) アイコン   をダブルクリックするとソフトウェアが動きます。
2. 診断ユーティリティには 4 つの機能 (Printer Donfiguration (プリンタ構成)、File Manager (ファイルマネージャー)、Bitmap Font Manager (ビットマップフォントマネージャー)、Command Tool (コマンドツール)) が含まれます。



7.2 プリンタ機能

1. ケーブルでプリンタをコンピュータに接続します。
2. バーコードプリンタに接続された PC インターフェイスを選択します。

USB ケーブル	その他のケーブル
Interface USB Setup デフォルトインターフェイス設定は USB インターフェイスです。USB インターフェイスがプリンタに接続されている場合、他の設定をインターフェイスフィールドで変更する必要はありません。	Interface COM Setup 2 USB COM 1 LPT ETHERNET

3. 「Printer Function (プリンタ機能)」ボタンをクリックして設定します。
4. プリンタ機能グループの詳細機能は以下のとおりです。

Printer Function	機能	説明
	Calibrate Sensor (センサー校正)	Printer Setup (プリンタ設定) グループメディアセンサー欄に指定されたセンサーを校正します
	Ethernet Setup (イーサネット設定)	IP アドレス、サブネットマスク、オンボードのイーサネット用ゲートウェイを設定します
	RTC Setup (RTC 設定)	プリンタのリアルタイムクロックと PC を同期します
	Factory Default (工場出荷時デフォルト)	プリンタを初期化し、設定を工場出荷時のデフォルト値に復元します。
	Reset Printer (プリンタリセット)	プリンタを再起動します
	Print Test Page (テストページ印刷)	テストページを印刷します
	Configuration Page (構成ページ)	プリンタ構成を印刷します
	Dump Text (テキストダンプ)	プリンタダンプモードを起動します。
	Ignore AUTO.BAS (AUTO.BAS の無視)	ダウンロードされた AUTO.BAS プログラムを無視します
	Exit Line Mode (ラインモード終了)	ラインモードを終了します。
	Password Setup (パスワード設定)	設定を保護するためにパスワードを設定します

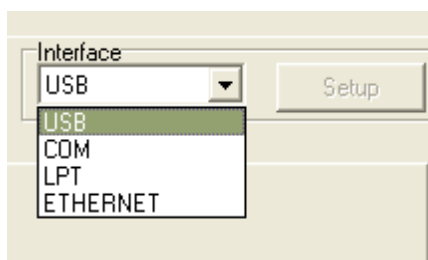
診断ツールについての詳細は、CD ディスクユーティリティディレクトリの診断ユーティリティクイックスタートガイドを参照してください。

7.3 診断ツールによるイーサネットの設定

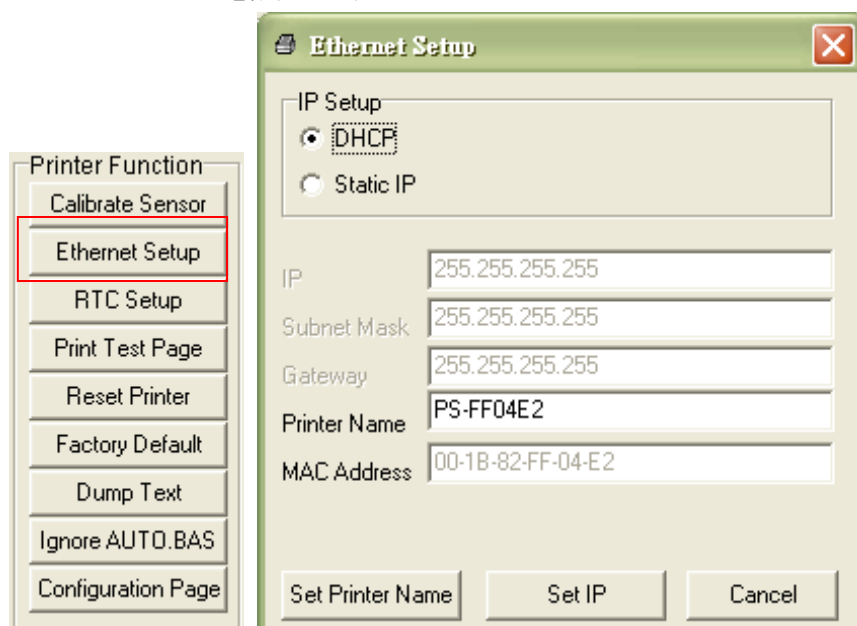
診断ユーティリティは CD ディスクのユーティリティ ディレクトリに含まれています。[診断ツールを使って、RS-232、USB とイーサネットインターフェイスによりイーサネットを設定することができます。以下は、これら 3 種類のインターフェイスによるイーサネットの構成方法の説明です。

7.3.1 USB インターフェイスを使用してイーサネットインターフェイスを設定する

1. USB ケーブルでプリンタをコンピュータに接続します。
2. プリンタの電源スイッチを入れます。
3.  **DiagTool.exe** アイコンをダブルクリックして診断ユーティリティを起動します。
4. Diagnostic Utility (診断ユーティリティ) のデフォルトインターフェイス設定は USB インターフェイスです。USB インターフェイスがプリンタに接続されている場合、他の設定をインターフェイスフィールドで変更する必要はありません。

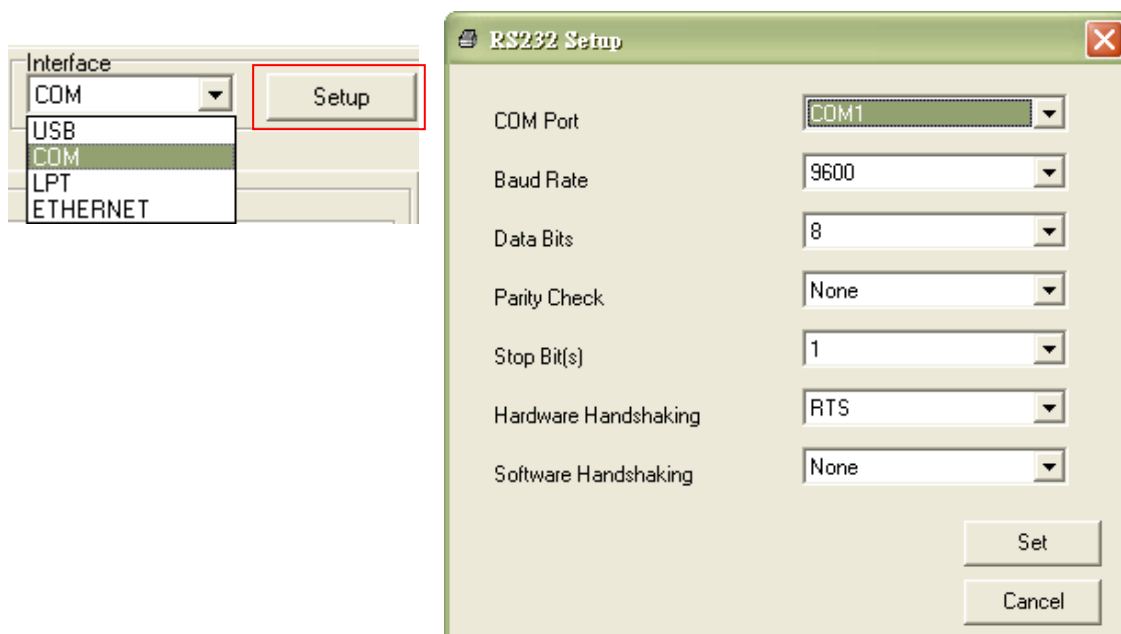


5. 「Printer Configuration (プリンタ構成)」タブの「Printer Function (プリンタ機能)」グループから「Ethernet Setup (イーサネット設定)」ボタンをクリックして、オンボードイーサネットの IP アドレス、サブネットマスク、およびゲートウェイを設定します

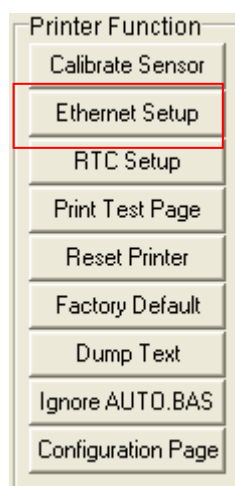


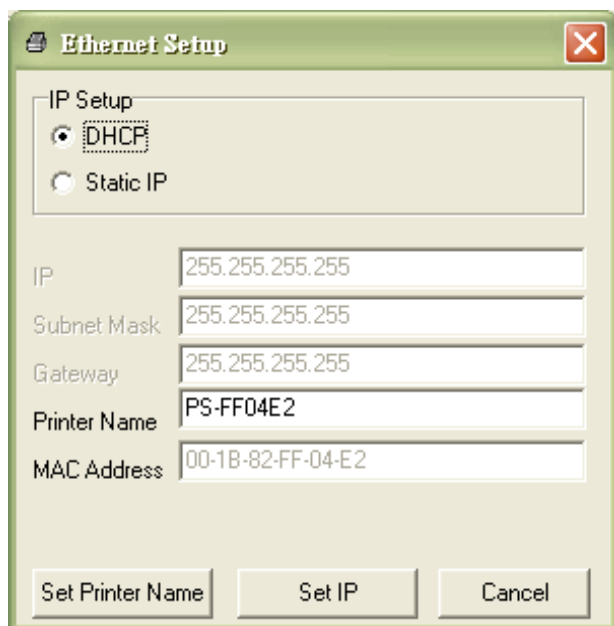
7.3.2 RS-232 インターフェイスを使用してイーサネットインターフェイスを設定する

1. RS-232 ケーブルでプリンタをコンピュータに接続します。
2. プリンタの電源を入れます。
3.  **DiagTool.exe** アイコンをダブルクリックして診断ユーティリティを起動します。
4. 「COM」をインターフェイスとして選択し、「Setup(設定)」ボタンをクリックしてシリアルポートボーレート、パリティチェック、データビット、ストップビット、フロー制御パラメータを設定します。



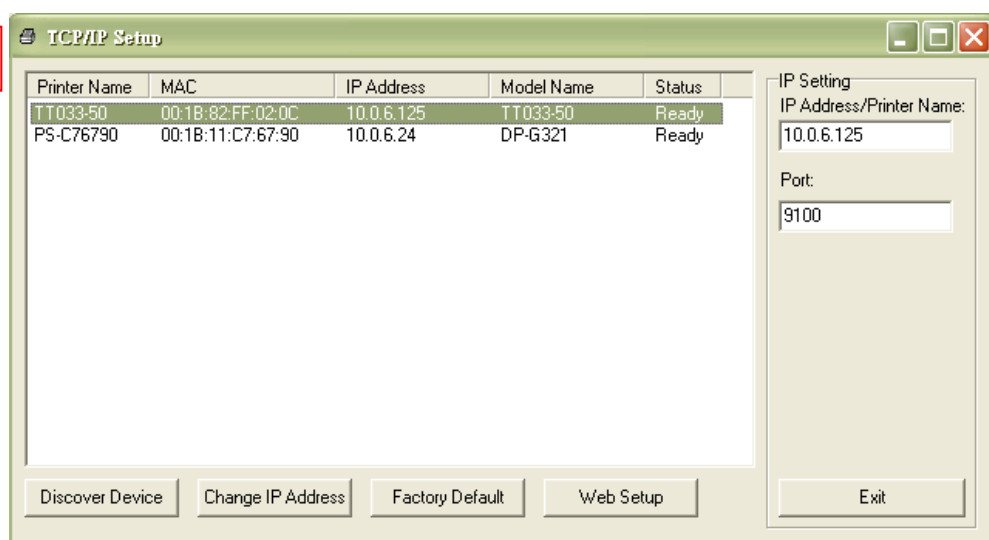
5. 「Printer Configuration(プリンタ構成)」タブの「Printer Function(プリンタ機能)」グループから「Ethernet Setup(イーサネット設定)」ボタンをクリックして、オンボードイーサネットの IP アドレス、サブネットマスク、およびゲートウェイを設定します。





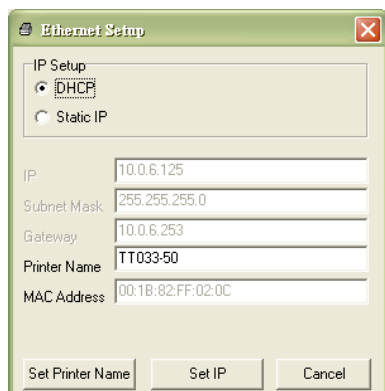
6.3.3 イーサネットインターフェイスを使ってイーサネットインターフェイスを設定する

1. コンピュータとプリンタを LAN に接続します。
2. プリンタの電源を入れます。
3.  **DiagTool.exe** アイコンをダブルクリックして診断ユーティリティを起動します。
4. 「Ethernet(イーサネット)」をインターフェイスとして選択し、「Setup(設定)」ボタンをクリックしてオンボードイーサネットの IP アドレス、サブネットマスク、およびゲートウェイを設定します。



5. 「Discover Device(装置の発見)」ボタンをクリックして、ネットワーク上に存在するプリンタを検索します。

6. リストされたプリンタの左側にあるプリンタを選択します。対応する IP アドレスが右側の IP address/Printer Name (IP アドレス/プリンタ名) フィールドに表示されます。
7. 「Change IP Address (IP アドレスの変更)」をクリックし、DHCP またはスタティックによって得られた IP アドレスを構成します。



デフォルトの IP アドレスは DHCP によって得られます。設定をスタティック IP アドレスに変更するには、「Static IP (スタティック IP)」のラジオボタンをクリックしてから IP アドレス、サブネットマスク、およびゲートウェイを入力します。「Set IP (IP を設定)」をクリックして設定を有効にします。

また、このフィールドに別のモデル名を入力して「Printer Name (プリンタ名)」を変更してから「Set Printer Name (プリンタ名を設定)」をクリックして、この変更を有効にすることもできます。

注記: 「Set Printer Name (プリンタ名を設定)」または「Set IP (IP を設定)」ボタンをクリックするとプリンタがリセットされ、設定が有効になります。

8. 「Exit (終了)」ボタンをクリックしてイーサネットインターフェイス設定を終了し、Diagnostic Tool (診断ツール) メイン画面に戻ります。

工場出荷時のデフォルトボタン

この機能は DHCP により得た IP、サブネットマスク、ゲートウェイのパラメータをリセットし、プリンタ名をリセットします。

ウェブ設定ボタン

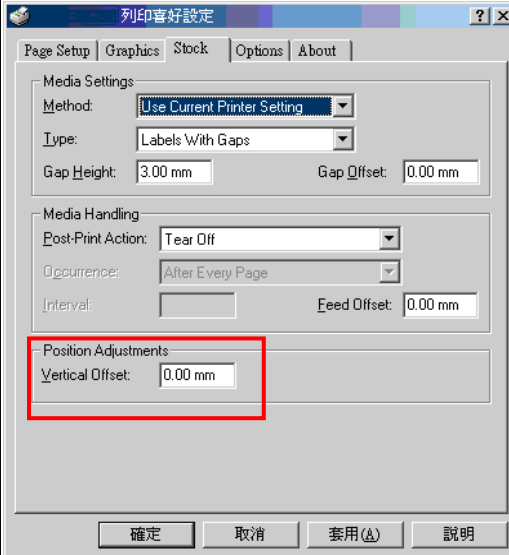
プリンタの設定で Diagnostic Utility [診断ユーティリティ] を使用する場合を除き、プリンタ設定およびステータスを検索/構成したり、または IE や Firefox Web ブラウザでファームウェアを更新することができます。この機能は分かりやすい設定インターフェイスを提供し、ネットワーク上でプリンタをリモート管理します。

8.トラブルシューティング

次のガイドは、本バーコードプリンタの操作中に発生する可能性のある最も一般的な問題点をリストアップしています。推奨されるすべての解決策を実行してもプリンタが正常に機能しない場合は、購入した小売店または販売業者のカスタマーサービス部にお問い合わせください。

問題	考えられる原因	回復手順
電源インジケータが点灯しない	* 電源コードが正しく接続されていない場合があります。	* 電源コードをプリンタとコンセントに繋いでください。 * プリンタの電源を入れます。
キャリッジオープン	* プリンタのキャリッジが開いています。	* プリンタキャリッジを閉じてください。
印刷できない	* インターフェイスクーブルがインターフェイスコネクタにしっかり接続されているか確認してください。 * ワイヤレスまたは Bluetooth デバイスがうまくホストとプリンタの間に接続されているか確認してください。 * Windows ドライバで指定されたポートが正しくありません。	* ケーブルをインターフェイスに再接続するか、新しいケーブルに交換してください。 * ワイヤレスデバイスの設定をリセットしてください。 * ドライバの正しいプリンタポートを選択してください。 * プリンタヘッドの汚れを取ります。 * プリンタヘッドのハーネスコネクタがプリンタヘッドと正確に接続されていません。プリンタの電源を切り、コネクタを接続し直します。 * プログラム上で、PRINT (印刷) のコマンドがファイルの終わりにあるか、また各コマンドラインの終わりに CRLF があることを確認します。
ラベルに印刷されない	* ラベルまたはリボンが正しくセットされていません。 * 違ったタイプの紙またはリボンが使用されています	* メディアおよびリボン取り付けの指示に従ってください。 * リボンとメディアが互換していません。 * リボンのインク塗装面を確認します。 * 印刷濃度設定が不適切です。
リボンなし	* リボン切れです。 * リボンが正しく取り付けられていません。	* 新しいリボンロールを補充します。 * リボンロールを再補充するには、取扱説明書の手順を参照してください。
用紙なし	* ラベル切れです。 * ラベルが正しく取り付けられていません。 * ギャップ/ブラックマークセンサーが校正されていません。	* 新しいラベルロールを補充します。 * ラベルロールを再補充するには、取扱説明書の手順を参照してください。 * ギャップ/ブラックマークセンサーを校正してください。
紙詰まり	* ギャップ/ブラックマークセンサーが正しく設定されていません。 * ラベルサイズが正しく設定されているか確認してください。 * ラベルがプリンタ機構内に詰まっている可能性があります。	* メディアセンサーを校正してください。 * メディアサイズを正しく設定してください。 * プリンタ機構内に詰まったラベルを取り除いてください。
ラベルを取る	* ピール機能が有効です。	* ピーラーモジュールが取り付けられている場合は、ラベルを取り除いてください。 * ピーラーモジュールがプリンタ正面に取り付けられていない場合は、プリンタの電源を切り、取り付けてください。 * コネクタが正しく接続されているか確認して

		ください。
メモリ(FLASH/DRAM/カード)にファイルをダウンロードすることができません	* メモリの容量が一杯です。	* メモリ内の未使用ファイルを削除してください。
SD カードが使用できない	* SD カードが破損しています。 * SD カードが正しく挿入されていません。 * 認定 SD カード製造元のカードではありません。	* サポートされている容量の SD カードを使用します。 * SD カードを挿入し直します。 * サポートされている SD カード仕様および認定 SD カード製造元については、セクション 2.2.3 を参照してください。
印刷の質が悪い	* リボンとメディアの取り付けが不適切です。 * プリンタヘッドに汚れや粘着物が付着しています。 * 印刷濃度が正しく設定されていません。 * プリンタヘッド部位が破損しています。 * リボンとメディアが互換していません。 * プリンタヘッド圧力が正しく設定されていません。	* 電源装置をリロードします。 * プリンタヘッドの汚れを取ります。 * プラテンローラーの汚れを取ります。 * 印刷濃度と印刷速度を調整します。 * プリンタのセルフテストを実行し、パターンにドットの欠落がないかプリンタヘッドのテストパターンを点検します。 * 適切なリボンおよびラベルメディアに交換します。 * プリンタヘッド圧力調節ノブを調節します。 * リリースレバーがプリンタヘッドに正しく嵌まっていません。
ラベルの左側あるいは右側に、印刷されていない部分がある	* ラベルサイズの設定が正しくありません。	* 正しいラベルサイズを設定します。
空白ラベルにグレーのラインが印刷される	* プリンタヘッドが汚れています。 * プラテンローラーが汚れています。	* プリンタヘッドの汚れを取ります。 * プラテンローラーの汚れを取ります。
印刷が不規則である	* プリンタが 16 進ダンプモードになっています。 * RS-232 設定が不適切です。	* ダンプモードをスキップするには、プリンタをオフにし、再度オンにします。 * RS-232 設定をリセット。
印刷の際に、ラベルフィードが安定していない(曲がる)	* メディアガイドがメディアの端に接していません。	* ラベルが右側に動く場合は、ラベルガイドを左に移動してください。 * ラベルが左側に動く場合は、ラベルガイドを右に移動してください。
印刷中にラベルがスキップされる	* ラベルサイズが正しく指定されていません。 * センサー感動が正しく設定されていません。 * メディアセンサーに埃が溜まっています。	* ラベルサイズが正しく設定されているか確認してください。 * 自動ギャップあるいは手動ギャップオプションによりセンサーを校正してください。 * ギャップ/ブラックマークセンサーをブロワーで清掃してください。
皺がよる	* プリンタヘッド圧力が正しくありません。 * リボンの取り付けが正しくありません。 * メディアの取り付けが正しくありません。 * 印刷濃度設定が不適切です。 * メディアのフィードが正しくありません。	* 4.4 章を参照してください。 * 適切な濃度を設定して印刷画質を向上させてください。 * ラベルガイドがメディアガイドの端に接するようにしてください。

印刷を再起動する際の RTC タイムが正しくありません。	* バッテリーが残り僅かになっています。	* メインボードにバッテリー残量があるか確認します。
印刷結果の左側の位置が正しくない	* ラベルサイズの設定が正しくありません。 * LCD メニューの Shift(シフト) X のパラメータが正しくありません。	* 正しいラベルサイズを設定します。 * [MENU(メニュー)] → [SELECT(選択)] x3 → [DOWN(下)] x5 → [SELECT(選択)] を押して Shift(シフト) X のパラメータを微調整します。
小さいラベルの印刷位置が適切ではない	* メディアセンサー感動が正しく設定されていません。 * ラベルサイズが正しくありません。 * LCD メニューの Shift(シフト) Y のパラメータが正しくありません。 * ドライバの垂直オフセット設定が正しくありません。	* センサー感度を再度校正します。 * 正しいラベルサイズとギャップサイズを設定します。 * [MENU(メニュー)] → [SELECT(選択)] x3 → [DOWN(下)] x6 → [SELECT(選択)] を押して Shift(シフト) Y のパラメータを微調整します。 * BarTender ソフトウェアを使用している場合、ドライバの垂直オフセットを設定してください。 

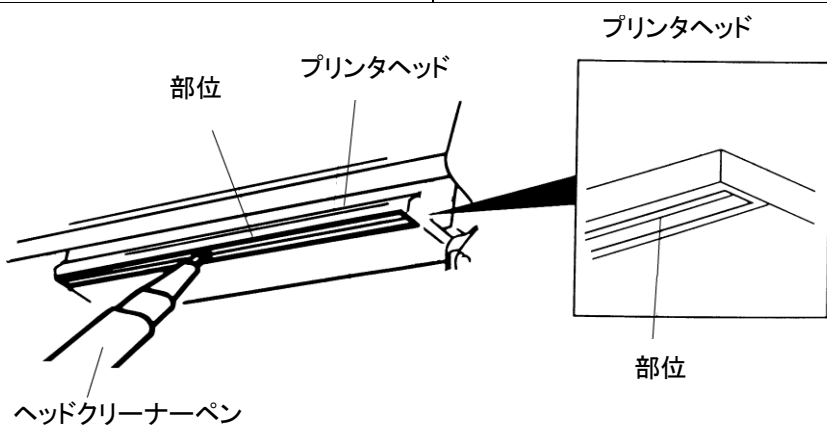
9. メンテナンス

プリンタを保守するための清浄ツールおよび方法を示します。

1. プリンタをクリーニングするには次のいずれかの材料を使用してください。

- 綿棒
- 柔らかい布
- 真空/ブロワーブラシ
- 100%エタノールまたはイソプロピルアルコール

2. 清浄は次のプロセスで行ってください

プリンタ部品	方法	間隔
プリンタヘッド	1. プリンタヘッドを清浄する前に必ずプリンタの電源を切ってください。 2. 少なくとも1分間、プリンタヘッドが冷却されるのを待ちます。 3. 綿棒と 100%エタノールまたはイソプロピルアルコールを使ってプリンタヘッドの表面を拭きます。	新しいラベルロールを使う時はプリンタヘッドを拭いてください。
		
プラテンローラー	1. プリンタの電源を切ります。 2. プラテンローラーを回転させて、水で十分に拭いてください。	新しいラベルロールを使う時はプラテンローラーを拭いてください。
ピールバー	柔らかい布と 100%エタノールを使って拭き取ります。	必要に応じて
センサー	圧縮空気または真空	毎月
外面	水で湿らせた布で拭きます	必要に応じて
内面	ブラシまたは掃除機	必要に応じて

注記:

- プリンタヘッドに手を触れないでください。うっかりヘッドに触れてしまった場合は、エタノールを使って汚れを取り除きます。
- 100%エタノールまたはイソプロピルアルコールを使ってください。医療用アルコールを使わないでください。プリンタヘッドが破損する可能性があります。
- 新しいメディアを交換したら、プリンタの性能を維持しプリンタの寿命を延ばすために、プリンタヘッドと電源センサーを定期的にクリーニングしてください。

改訂履歴

日付	内容	編集者
2015/6/26	セクション 1.6 の修正	カミュー
2015/7/31	セクション 3.3.3 を改変(ピールオフモードでのメディアの取り付け)	カミュー
2015/10/19	セクション 2.2.3 を改変(SD カード仕様を推奨)	カミュー
2015/11/9	セクション 4.2 を追加(リボンテンション調整モジュール) セクション 4.4 を改変(リボンの皺を防ぐ機構微調整)	カミュー



TSC Auto ID Technology Co., Ltd.

本社

9F., No.95, Minquan Rd., Xindian Dist.,
New Taipei City 23141, Taiwan (R.O.C.)

電話: +886-2-2218-6789

ファックス: +886-2-2218-5678

ホームページ: www.tscprinters.com

電子メール: apac_sales@tscprinters.com

tech_support@tscprinters.com

Li Ze 施設

No.35, Sec. 2, Ligong 1st Rd., Wujie Township,
Yilan County 26841, Taiwan (R.O.C.)

電話: +886-3-990-6677

ファックス: +886-3-990-5577